



Cisco HyperFlex ソフトウェア推奨事項およびガイドライン

初版：2021年1月6日

最終更新：2024年3月20日

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <http://www.cisco.com/go/trademarks>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

© 2021–2024 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



目次

?

はじめに :

[通信、サービス、偏向のない言語、およびその他の情報](#) vii

第 1 章

[新機能と更新情報](#) 1

[このガイドの新機能](#) 1

第 2 章

[概要](#) 3

[概要](#) 3

第 3 章

[Cisco HyperFlex ソフトウェア推奨事項およびガイドライン](#) 5

[概要](#) 5

[新規環境および既存環境での実装に対する推奨ソフトウェア](#) 6

[UCS サーバーファームウェア バージョンの選択](#) 6

[HXDP とハイパーバイザのバージョンの選択 - ESXi](#) 7

[HXDP とハイパーバイザのバージョンの選択 - Hyper-V](#) 9

[HyperFlex リリース](#) 12

[提供中のリリース バージョンの種類](#) 12

[HXDP のリリース サポート タイムライン](#) 12

[HXDP リリースのリリース サポート タイムライン: 5.5\(x\)](#) 13

[HXDP リリースのリリース サポート タイムライン: 5.0\(x\)](#) 13

[リリース4.5\(2x\) までのリリース サポート タイムライン](#) 14

[UCS サーバーファームウェアのリリース サポート タイムライン](#) 15

[Cisco HyperFlex のアップグレード](#) 15

Cisco HyperFlex をアップグレードする理由	15
推奨リリースより以前のソフトウェア バージョンを使用する環境	17
サポートされていない Cisco HyperFlex リリース	17
推奨リリースへのサポートされているアップグレードパス	17

第 4 章**Cisco HyperFlex ソフトウェア要件 19**

Cisco HyperFlex ソフトウェア要件 (リリース別)	19
----------------------------------	----

第 5 章**Cisco HX リリース 5.5 (x) -ソフトウェア要件 21**

Cisco HX Data Platform の互換性と拡張性の詳細 - 5.5(x) リリース	21
FI/サーバーファームウェア - 5.5(x) リリース	25
5.5 (x) 展開向け HyperFlex Edge/DC-No-FI およびファームウェア互換性マトリックス	27
ストレッチ クラスタ用 HyperFlex 補助ノードの HX データ プラットフォーム ソフトウェア バージョン - 5.5(x) リリース	28
VMware ESXi のソフトウェア要件 - 5.5(x) リリース	29
ブラウザの推奨事項 - 5.5(x) リリース	30

第 6 章**Cisco HX リリース 5.0 (x) -ソフトウェア要件 31**

Cisco HX Data Platform の互換性と拡張性の詳細 - 5.0(x) リリース	31
FI/サーバーファームウェア - 5.0(x) リリース	39
5.0 (x) 展開向け HyperFlex Edge/DC-No-FI およびファームウェア互換性マトリックス	42
ストレッチ クラスタ用 HyperFlex 補助ノードの HX データ プラットフォーム ソフトウェア バージョン - 5.0 (x) リリース	44
VMware ESXi のソフトウェア要件 - 5.0(x) リリース	44
Microsoft Hyper-V のソフトウェア要件 - 5.0(x) リリース	46
ブラウザの推奨事項 - 5.0(x) リリース	47

第 7 章**Cisco HX リリース 4.5 (x) -ソフトウェア要件 49**

Cisco HX Data Platform の互換性と拡張性の詳細 - 4.5(x) リリース	49
FI/サーバーファームウェア - 4.5(x) リリース	54
4.5 (x) 展開向け HyperFlex Edge/DC-No-FI およびファームウェア互換性マトリックス	57

ストレッチ クラスタ用 HyperFlex 補助ノードの HX データ プラットフォーム ソフトウェア バージョン - 4.5 (x) リリース	58
VMware ESXi のソフトウェア要件 - 4.5(x) リリース	58
Microsoft Hyper-V のソフトウェア要件 - 4.5(x) リリース	62
ブラウザの推奨事項 - 4.5(x) リリース	63

第 8 章

Cisco HX の廃止されたリリース-ソフトウェア要件	65
推奨される FI/サーバーファームウェア - 旧版のリリース	65
ストレッチ クラスタ用 HyperFlex 補助ノードの HX データ プラットフォーム ソフトウェア バージョン - 旧版のリリース	70
VMware ESXi のソフトウェア要件 - 古いリリース	71

第 9 章

マニュアルの変更履歴	75
マニュアルの変更履歴	75

第 10 章

関連ドキュメントおよびソフトウェア	89
マニュアルとソフトウェア	89
マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート	89



通信、サービス、偏向のない言語、およびその他の情報

- シスコからタイムリーな関連情報を受け取るには、[Cisco Profile Manager](#) でサインアップしてください。
- 重要な技術によりビジネスに必要な影響を与えるには、[シスコサービス](#)にアクセスしてください。
- サービスリクエストを送信するには、[Cisco Support](#) にアクセスしてください。
- 安全で検証済みのエンタープライズクラスのアプリケーション、製品、ソリューション、およびサービスを探して参照するには、[Cisco Marketplace](#) にアクセスしてください。
- 一般的なネットワーキング、トレーニング、認定関連の出版物を入手するには、[Cisco Press](#) にアクセスしてください。
- 特定の製品または製品ファミリの保証情報を探すには、[Cisco Warranty Finder](#) にアクセスしてください。

マニュアルに関するフィードバック

シスコのテクニカルドキュメントに関するフィードバックを提供するには、それぞれのオンラインドキュメントの右側のペインにあるフィードバックフォームを使用してください。

Cisco バグ検索ツール

[Cisco Bug Search Tool](#) (BST) は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理する Cisco バグ追跡システムへのゲートウェイとして機能する、Web ベースのツールです。BST は、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

偏向のない言語

この製品のマニュアルセットは、偏向のない言語を使用するように配慮されています。このドキュメントセットでの偏向のない言語とは、年齢、障害、性別、人種的アイデンティティ、民族的アイデンティティ、性的指向、社会経済的地位、およびインターセクショナルリティに基づく差別を意味しない言語として定義されています。製品ソフトウェアのユーザーインターフェ

イスにハードコードされている言語、基準ドキュメントに基づいて使用されている言語、または参照されているサードパーティ製品で使用されている言語によりドキュメントに例外が存在する場合があります。



第 1 章

新機能と更新情報

- [このガイドの新機能 \(1 ページ\)](#)

このガイドの新機能

次の表では、このガイドに加えられた最近の重要な変更点の概要を示します。この表は、このマニュアルに加えられた変更やこのリリースの新しい機能をすべて網羅するものではありません。

完全な改訂履歴については、[改訂履歴](#) を参照してください。

表 1: Cisco HyperFlex ソフトウェア推奨事項およびガイドラインの新機能および機能変更

特長	説明	リリースまたは日付が追加された	参照先
5.0(2g)	HX 5.0(x) の認定 FI/サーバーファームウェアのリストから UCS 4.2(3j) を追加しました	2024 年 3 月 20 日	FI/サーバーファームウェア - 5.0(x) リリース (39 ページ)
5.0(2g)	推奨リリースのすべての新規と既存のクラスタを HX 5.0(2g) にアップデートしました。	2024 年 3 月 5 日	FI/サーバーファームウェア - 5.0(x) リリース (39 ページ)
5.5(1x)、5.0(2x)	5.5(1x) および 5.0(2x) のリリース サポート タイムラインの日付をアップデートしました。	2024 年 1 月 19 日	<ul style="list-style-type: none">リリース 5.5(1x) 向けリリース サポート タイムラインリリース 5.0(2x) 向けリリース サポート タイムライン:

特長	説明	リリースまたは日付が追加された	参照先
5.0(2e)	推奨リリースの全ての新規と既存のクラスターをHX 5.0(2e)にアップデートしました。	2023年9月27日	FI/サーバーファームウェア - 5.0(x) リリース (39 ページ)
5.5(1a)	推奨リリースのすべての新規と既存のクラスターをHX 5.5(1a)にアップデートしました。	2023年8月22日	FI/サーバーファームウェア - 5.5(x) リリース (25 ページ)



第 2 章

概要

- [概要 \(3 ページ\)](#)

概要

本ドキュメントでは、Cisco HyperFlex HX シリーズシステムでどの HX データプラットフォーム ソフトウェア リリースが推奨されるかを説明します。本ドキュメントの内容は、新規および既存の設定・構築の両方をカバーしています。本ドキュメントでは、Cisco HyperFlex HX シリーズシステムでどの HX データプラットフォーム ソフトウェア リリースが要件であるかを説明します。本ドキュメントの内容は、新規および既存の設定・構築の両方をカバーしています。Cisco HyperFlex ソフトウェアのインストールとアップグレードを担当するユーザーを対象としています。また、アップグレードオプション、サポートされていないリリースのガイダンスも含まれています。これらの推奨事項は一般的なものです。これらは、お客様環境固有の設計レビュー作業を置き換えるものではありません。また、アドバンスドサービス（利用している場合）の推奨するリリースが優先されます。



- (注) 推奨されるリリースバージョンでのパッチリリースは、ドキュメントでの情報提供前にダウンロード可能になる場合があります。以下の推奨事項よりそれ以降のパッチリリースがダウンロード可能な場合は、[HX データプラットフォーム リリースノート](#)および[HX データプラットフォームセキュリティアドバイザリ](#)の「問題」セクションを確認してください。解決済みの問題は、展開シナリオや機能セットと関係があり、以降のリリースにアップグレードすることで差分修正のメリットが得られるかを判断する必要があります。本書に説明されているバージョン番号は、本書作成時の推奨バージョンです。今後、推奨バージョン番号を変更する可能性があります。



- (注) なお「Cisco HX」は製品名「Cisco HyperFlex」の短縮形であり、このドキュメント全体で使用されています。

特定のソフトウェア要件については、実施する展開に対応する章を参照してください。



第 3 章

Cisco HyperFlex ソフトウェア推奨事項およびガイドライン

- [概要 \(5 ページ\)](#)
- [新規環境および既存環境での実装に対する推奨ソフトウェア \(6 ページ\)](#)
- [HyperFlex リリース \(12 ページ\)](#)

概要

本章では、Cisco HyperFlex HX シリーズ システムでどの HX データプラットフォーム ソフトウェア リリースが推奨されるかを説明します。本ドキュメントの内容は、新規 および既存の設定・構築の両方を取り扱っています。



- (注) 推奨されるリリースバージョンのパッチリリースは、ドキュメントでの情報提供前にダウンロード可能な場合があります。最新のパッチをダウンロードする前に、[HX データプラットフォーム リリースノート](#)および[Cisco HyperFlex HX Data Platform セキュリティアドバイザリ](#)の「問題」セクションで、最新のリリースでの差分修正から利益を得られる展開シナリオと機能を確認してください。

このガイドで使用される一般的な用語と定義は次のとおりです。

表 2: 一般的な用語と定義

用語	定義
Cisco HX	製品名「Cisco HyperFlex」の短縮形であり、このドキュメント全体で使用されています。
Required	準拠するには、使用する、または従う必要があります。
認定	ほとんどの展開で最適なパフォーマンスを提供する認定オプション。

用語	定義
推奨	ほとんどの展開で最適なパフォーマンスを提供する、テスト済みで認定済みのオプション。

新規環境および既存環境での実装に対する推奨ソフトウェア

シスコは、新規および既存の展開に推奨および推奨されるソフトウェアを提供します。ほとんどの展開で最適なパフォーマンスを提供する認定オプションであるソフトウェアリリースの組み合わせもあります。適格なオプションの完全なリストの詳細については、Cisco HXDP ソフトウェア要件のセクションを参照してください。

UCS サーバーファームウェア バージョンの選択

新しいクラスタをインストールする場合、または既存のクラスタをアップグレードする場合は、正しい UCS サーバーファームウェア バージョンを選択するためのガイドランスについて、次の表を参照してください。

表 3: UCS サーバーファームウェア バージョンの選択

インストール/アップグレード	ガイドライン
新しいクラスタをインストールする場合:	<p>最新の HX 認定 UCS サーバーファームウェア バージョンをインストールします。認定 UCS サーバーファームウェア バージョンの詳細については、次を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • FI/サーバーファームウェア -5.5(x) リリース (25 ページ) • FI/サーバーファームウェア -5.0(x) リリース (39 ページ) • FI/サーバーファームウェア -4.5(x) リリース (54 ページ)

インストール/アップグレード	ガイドライン
<p>既存のクラスタをアップグレードする場合:</p>	<p>サーバーファームウェアの現在のバージョンが対象のHXDPバージョンで認定され、サポートされていることを確認します。その場合は、ファームウェアバージョンに対する未解決のアドバイザリと Field Notice を確認し、影響を受けるシステムのアドバイザリの該当する指示に従ってください。これらがどれも該当しない場合、サーバーファームウェアバージョンのアップグレードはオプションです。</p> <p>現在のサーバーファームウェアバージョンがサポートされている場合でも、アップグレードする正当な理由がある場合があります。サーバーファームウェアバージョンのアップグレードが必要になる状況の例は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • サーバーファームウェアで発生したバグの修正を取得するには • 返品許可 (RMA) または新しいドライブまたはファームウェアバージョンを必要とする他のコンポーネントを使用した拡張 • 現在のファームウェアバージョンのサポート終了 • 新しいサーバーファームウェアバージョンを必要とする新しい世代のサーバーノードでのクラスタ拡張 <p>より大きなクラスタまたは短いアップグレード期間でサーバーファームウェアをアップグレードする場合は、サーバーファームウェアのアップグレードを HXDP アップグレードから分離し、最初にサーバーファームウェアのアップグレードを実行します。</p>

HXDP とハイパーバイザのバージョンの選択 - ESXi

アップグレードを検討している新規および既存のクラスタを持つ ESXi のお客様

アップグレードを検討している新規および既存のクラスタを持つ ESXi のお客様は、次の表で推奨されるソフトウェアバージョンを参照してください。提供されているリンクを使用して、リリースノートおよび関連するソフトウェアのダウンロードページにアクセスできます。



重要 ソフトウェアダウンロードページの HXDP & ESXi バージョンに対する未解決のアドバイザリと Field Notice を確認し、影響を受けるシステムのアドバイザリの該当する指示に従ってください。

表 4: ESXi で推奨されるソフトウェアバージョン

プラットフォーム	推奨される HX リリース	推奨される VMware ESXi バージョン
アップグレードを考慮中のすべての新しいクラスタと既存のクラスタ。	5.0(2e)	7.0 U3 - ソフトウェアダウンロードページで指定されている、ESXi 7.0 U3 ビルド 21930508 以降のビルド用の Cisco HX カスタマイメージ。



重要 クラスタを HXDP 5.0(2e) にアップグレードする前に、HX Field Notice を参照し、緩和策を適用してください。HXDP リリース 5.0(2a)、5.0(2b)、5.0(2c)、または 5.0(2d) を実行しているクラスタは、Field Notice の影響を受ける可能性があるため、問題を回避するために 5.0(2e) にアップグレードする前に緩和策を適用する必要があります。



重要 M5 ノードを備えた HyperFlex クラスタの場合、サーバーファームウェアバージョンが推奨またはサポートされていることを確認してください。UCS サーバファームウェアバージョン 4.1(3b) または 4.1(3c) で M5 ノードを実行している場合は、バージョン 4.1(3d) 以降にアップグレードしてください。詳細については、CSCvx93920 を参照してください。この欠陥は、クラスタ内の M4 ノードには影響しません。



重要 HyperFlex ストレッチクラスタを HXDP 5.0(2b) にアップグレードしないでください。ソフトウェアアドバイザリを参照してください。 https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/unified_computing/ucs/sw/SA/sw-advisory-hyperflex-release-5-0-2b.html



(注) エアギャップのお客様（つまり、HXDP SLR または PLR を使用している）の場合、アップグレードまたは新しいクラスタの作成では、HX 5.0 (2b) 以降を使用して永続的なルートシェル機能を利用することを検討する必要があります。



(注) ストレッチクラスタ、All-NVMe、HX アクセラレーションエンジン、HX Edge2 ノードクラスタは、M4 ハードウェアではサポートされていません。



(注) CCO の [ソフトウェアダウンロードページ](#) の星印は、Cisco HyperFlex ESX 標準 HX デプロイメント (SED/非 SED/ストレッチ クラスタ) で推奨されるリリースを示しています。



(注) SED SSD 設定を使用する Cisco HyperFlex クラスタには、最新推奨リリースへのアップグレードが必要です。問題と問題の影響を受けやすい設定を特定するための手順の詳細については、Field Notice [FN70234](#) を参照してください。



(注) HyperFlex OVA ベースのインストーラは、HX Edge M6 をサポートしていません。ライフサイクル管理に Intersight を使用します。HX 非エッジクラスタは、OVA または Intersight インストーラを使用して展開できます。

HXDP とハイパーバイザのバージョンの選択 - Hyper-V

アップグレードを検討している新規および既存のクラスタを持つ **Hyper-V** のお客様



重要 Microsoft Hyper-V のサポートは、Cisco HXDP リリース 5.0(x) で終了します。

アップグレードを検討している新規および既存のクラスタを持つ **Hyper-V** のお客様は、次の表で推奨されるソフトウェアバージョンを参照してください。提供されているリンクを使用して、リリースノートおよび関連するソフトウェアのダウンロードページにアクセスできます。

表 5: Microsoft Hyper-V で推奨されるソフトウェアバージョン

プラットフォーム	推奨される HX リリース	推奨される Hyper-V バージョン
アップグレードを考慮中のすべての新しいクラスタと既存のクラスタ。	5.0(2e)	<p>Windows Server 2016 Datacenter Core および Desktop Experience</p> <p>(注) Windows Server 2016 Datacenter Core & Desktop Experience では、Windows 2016 ISO イメージは少なくとも Update Build Revision (UBR) 1884 である必要があります。</p> <p>Windows Server 2019 Datacenter デスクトップエクスペリエンス</p> <p>(注) Windows Server 2019 Desktop Experience では、Windows 2019 ISO イメージは少なくとも Update Build Revision (UBR) 107 である必要があります。</p>



(注) HXDP 5.5(1a) 以降、Microsoft Hyper-V はサポートされていません。



(注) Microsoft Hyper-V でサポートされていない機能は次のとおりです。

- M6 サーバー
- HX Edge
- オール NVMe
- HX アクセラレーション エンジン
- ストレッチ クラスタ
- 自己暗号化ドライブ
- iSCSI サポート
- UEFI セキュアブート モード
- HX-CSI サポート
- vCenter の再登録
- HyperCheck
- HxConnect のスケジュールされたスナップショット
- VIC 1457



(注) Microsoft Hyper-V は M5 ハードウェアでのみサポートされます。



(注) SFP-H25G-CU3M または SFP-H25G-CU5M モジュールを使用して 1455/1457 に接続された 6400 FI には UCS リリース 4.0(4k) およびそれ以降、または 4.1(2a)が必要です。

HW、SW の互換性、および最新の HX リリースとの互換性を必要とする同じ FI でのマルチクラスタ展開の詳細については、以下を参照してください。

- [Microsoft Hyper-V のソフトウェア要件 - 4.5\(x\) リリース \(62 ページ\)](#)
- [Microsoft Hyper-V のソフトウェア要件 - 5.0\(x\) リリース \(46 ページ\)](#)
- [Cisco HX Data Platform の互換性と拡張性の詳細 - 4.5\(x\) リリース \(49 ページ\)](#)
- [Cisco HX Data Platform の互換性と拡張性の詳細 - 5.0\(x\) リリース \(31 ページ\)](#)
- [Cisco HX Data Platform の互換性と拡張性の詳細 - 5.5\(x\) リリース \(21 ページ\)](#)

HyperFlex リリース

このセクションでは、利用可能な HyperFlex リリース、サポートタイムライン、アップグレードガイドライン、およびサポートされていないリリースに関する情報について説明します。

提供中のリリース バージョンの種類

リリースの種類	リリース
現在のロングライフ リリース	4.5(2x)、5.0(2x)
機能リリース (ショートライフ リリース)	5.5(1a)



(注) 機能リリースを使用する場合は、機能リリースで提供されている最新のパッチリリースを常に使用することをお勧めします。

Cisco HyperFlex リリース ポリシーおよびサポート タイムラインの詳細については、次の情報を参照してください。 https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/hyperconverged_systems/HyperFlex_HX_DataPlatformSoftware/release-guidelines-and-support-timeline/b-release-bulletin-hyperflex.html

依存関係、セキュリティ修正、解決済みの警告の詳細なリストについては、特定のリリースのリリースノートを参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/hyperconverged-systems/hyperflex-hx-data-platform-software/products-release-notes-list.html> を参照してください

HX データ プラットフォームの販売終了およびサポート終了のお知らせについては、

<https://www.cisco.com/c/en/us/products/hyperconverged-infrastructure/hyperflex-hx-series/bulletin-listing.html> を参照してください。

HXDP のリリース サポート タイムライン

次のサポート タイムラインは、主要なマイルストーン (リリース日、ソフトウェア メンテナンスの終了 (EOSM)、ダウンロードの終了 (EOD)、セキュリティと脆弱性修正の終了 (EoVS) (PSIRT fixes)、サポートの最終日)、定義、および関連する日付を特定するために提供されています。現在サポート終了 (EOL) になっている HX リリースのサポート タイムラインの詳細については、[Cisco HyperFlex HX シリーズ速報](#) を参照してください。

HXDP リリースのリリース サポート タイムライン: 5.5(x)

表 6: 5.5(1x)のリリース サポート タイムライン

マイルストーン	定義	日付
リリース日	ソフトウェアバージョンが最初にダウンロード可能になった日付。	2023 年 8 月 14 日
ソフトウェア メンテナンス終了 (EOSM) のリリース日	シスコのエンジニアリング部門による、ソフトウェアメンテナンスリリースまたはバグ修正の最終日。この日付以降は、シスコのエンジニアリング部門による該当バージョンのソフトウェアの開発、修正、メンテナンス、テストが行われません。	2024 年 8 月 22 日
ダウンロード終了 (EOD) 日	Cisco のダウンロード ページから該当ソフトウェアをダウンロードできる最後の日付。この日付を過ぎると、ダウンロードサイトから該当ソフトウェアをダウンロードできなくなります。	2024 年 8 月 22 日
セキュリティと脆弱性サポート (EoVS) (PSIRT 修正) の提供終了	シスコがセキュリティ脆弱性サポートを提供する最終日。	2024 年 8 月 22 日
サポートの最終日	当該バージョンに対して問い合わせサポートおよび情報サービスを受けられる最終日。この日付を過ぎると、このソフトウェアのすべてのサポートを利用することができなくなり、ソフトウェアは廃止となります。	2024 年 11 月 30 日

HXDP リリースのリリース サポート タイムライン: 5.0(x)

5.0 (2x) のリリース サポート タイムライン

マイルストーン	定義	日付
リリース日	ソフトウェアバージョンが最初にダウンロード可能になった日付。	2022 年 8 月 23 日

リリース4.5(2x)までのリリース サポート タイムライン

マイルストーン	定義	日付
ソフトウェア メンテナンス終了 (EOSM) のリリース日	シスコのエンジニアリング部門による、ソフトウェアメンテナンスリリースまたはバグ修正の最終日。この日付以降は、シスコのエンジニアリング部門による該当バージョンのソフトウェアの開発、修正、メンテナンス、テストが行われません。	2024年8月23日
ダウンロード終了 (EOD) 日	Cisco のダウンロード ページから該当ソフトウェアをダウンロードできる最後の日付。この日付を過ぎると、ダウンロードサイトから該当ソフトウェアをダウンロードできなくなります。	2024年11月30日
セキュリティと脆弱性サポート (EoVS) (PSIRT 修正) の提供終了	シスコがセキュリティ脆弱性サポートを提供する最終日。	2024年11月30日
サポートの最終日	当該バージョンに対して問い合わせサポートおよび情報サービスを受けられる最終日。この日付を過ぎると、このソフトウェアのすべてのサポートを利用することができなくなり、ソフトウェアは廃止となります。	2025年2月28日

リリース4.5(2x)までのリリース サポート タイムライン

表 7: 4.5(2x)のリリース サポート タイムライン

マイルストーン	定義	日付
リリース日	ソフトウェアバージョンが最初にダウンロード可能になった日付。	2021年6月30日

マイルストーン	定義	日付
ソフトウェア メンテナンス終了 (EOSM) のリリース日	シスコのエンジニアリング部門による、ソフトウェアメンテナンスリリースまたはバグ修正の最終日。この日付以降は、シスコのエンジニアリング部門による該当バージョンのソフトウェアの開発、修正、メンテナンス、テストが行われません。	2022 年 12 月 17 日
ダウンロード終了 (EOD) 日	Cisco のダウンロード ページから該当ソフトウェアをダウンロードできる最後の日付。この日付を過ぎると、ダウンロードサイトから該当ソフトウェアをダウンロードできなくなります。	2023 年 9 月 17 日
セキュリティと脆弱性サポート (EoVS) (PSIRT 修正) の提供終了	シスコがセキュリティ脆弱性サポートを提供する最終日。	2023 年 9 月 17 日
サポートの最終日	当該バージョンに対して問い合わせサポートおよび情報サービスを受けられる最終日。この日付を過ぎると、このソフトウェアのすべてのサポートを利用することができなくなり、ソフトウェアは廃止となります。	2023 年 12 月 31 日

UCS サーバーファームウェアのリリース サポート タイムライン

UCS サーバーファームウェア バージョンのサポートタイムラインの詳細については、[UCS Manager](#)、[ファームウェア/ドライバ](#)、および[ブレード BIOS](#)のリリースノートを参照してください。

Cisco HyperFlex のアップグレード

このセクションでは、時間のかかるアップグレードや不適切な再起動を最小限に抑える目的で、アップグレードイベントを管理するのに役立つ情報を提供します。

Cisco HyperFlex をアップグレードする理由

このセクションでは、特定の HyperFlex リリースに更新する主な理由について説明します。

Cisco HyperFlex DP リリース 5.5(x) にアップグレードする理由

Cisco HyperFlex DP リリース 5.5(1x) にアップグレードする主な理由としては、次のものが挙げられます。

- VMware ESXi 8.0 UI サポート
- ストレッチ クラスタ Intersight アービトレータ。監視と管理のオーバーヘッドをホストするための 3 番目のサイトが不要
- ストレッチ クラスタの優先サイトのサポート
- UCS FI 6536 のサポート

Cisco HyperFlex DP リリース 5.0 (2x) にアップグレードする理由

Cisco HyperFlex DP リリース 5.0 (2x) にアップグレードする主な理由としては、次のものが挙げられます：

- Cisco HyperFlex HX245C/225C M6 オール フラッシュ/ハイブリッド サーバー データセンター ノードのサポート
- 15TB NVMe サポート
- HX シェルの「診断」ユーザー
- ストレッチ クラスタのソフトウェア暗号化サポート
- DR レプリケーション ネットワークの MTU 編集のサポート
- ESXi 7.0 U3 のサポート
- HX CSI リリース 1.2 (3a)
- Intel® Optane™ DC パーシステント メモリ (DCPMM) のサポート。

Cisco HyperFlex DP リリース 4.5(x) にアップグレードする理由

Cisco HyperFlex リリース 4.5(x) にアップグレードする主な理由としては、次のものが挙げられます。

- HyperFlex Edge 240 フル デプス サーバー
- ハードウェア RAID M.2 ブートドライブ
- ネイティブ iSCSI プロトコルのサポート (ブロックストレージ)
- Intersight を使用した HyperFlex Edge クラスタのバックアップと復元
- HX Connect でのスケジュールされたスナップショット
- セキュア管理者シェル
- UEFI セキュアブート モード

推奨リリースより以前のソフトウェアバージョンを使用する環境

可能な限り、前述の Cisco HyperFlex リリースのいずれかにアップグレードすることをお勧めします。アップグレードが不可能な場合は、以前のリリースの [HX データ プラットフォーム リリースノート](#)を確認してください。未解決の問題の影響の判断には [バグ検索ツール](#)を使用することで情報が得られる場合があります。

サポートされていない Cisco HyperFlex リリース

リリース	初期リリース日	サポート終了日
HXDP 5.0(1x)	2021年11月10日	2023年2月28日
HXDP 4.5(1x)	2021年1月6日	2022年1月31日
HXDP 4.0(2x)	2020年2月11日	2023年2月28日
HXDP 4.0(1x)	2019年4月29日	2020年9月29日
HXDP 3.5(2x)	2019年1月8日	2021年10月31日
HXDP 3.5 (1x)	2018年10月16日	2020年5月15日
HXDP 3.0 (1x)	2018年4月13日	2020年5月15日
HXDP 2.6(1a)、2.6(1b)、 2.6(1e) ¹	2017年9月1日 2017年11月15日 2019年8月6日	2019年6月15日
HXDP 2.0、2.1、2.5	2017年3月13日、2017年4月28日、2017年7月22日	2019年
HXDP 1.7、1.8	2016年11月26日	2019年

¹ HX2.6(1e)は、HX1.8 (1a-1e) アップグレードの経由箇所としてのみサポートされます。一般的な用途ではありません。

推奨リリースへのサポートされているアップグレードパス

HX データプラットフォーム ソフトウェアを新しいリリースにアップグレードする場合は、展開の要件に基づいてリリースを選択します。また、最新の HyperFlex ソフトウェアリリース配信モデルを確認して、長期リリースまたは機能リリースのどちらにアップグレードするのが最適かを判断してください。詳細については、『[Cisco HyperFlex ソフトウェア リリース モデル およびソフトウェア サポート タイムライン](#)』を参照してください。

新規および既存の導入に関する一般的な推奨事項については、[Cisco HyperFlex ESXi および Hyper-V の推奨バージョン](#)を説明したセクションを参照してください。

サポートを終了した HX データプラットフォーム ソフトウェア リリースから、Cisco ソフトウェアダウンロードサイトの最新の提案されたリリースにアップグレードする場合、『[サポートされていない Cisco HX リリースの Cisco HyperFlex システム アップグレード ガイド](#)』を参照してください。



第 4 章

Cisco HyperFlex ソフトウェア要件

- [Cisco HyperFlex ソフトウェア要件 \(リリース別\) \(19 ページ\)](#)

Cisco HyperFlex ソフトウェア要件 (リリース別)

次の章では、リリースごとのソフトウェア要件を示します。詳細には、次の情報が含まれます。

- Cisco HX Data Platform の互換性と拡張性の詳細
- FI/サーバーファームウェア
- HyperFlex Edge/DC-no-FI とファームウェアの互換性マトリックス
- ストレッチ クラスタ用 HyperFlex 補助ノードの HX データ プラットフォーム ソフトウェア バージョン
- VMware ESXi のソフトウェア要件
- Microsoft Hyper-V のソフトウェア要件
- ブラウザの推奨事項

サポートされているリリース

[Cisco HX リリース 5.5 \(x\) -ソフトウェア要件 \(21 ページ\)](#)

[Cisco HX リリース 5.0 \(x\) -ソフトウェア要件 \(31 ページ\)](#)

[Cisco HX リリース 4.5 \(x\) -ソフトウェア要件 \(49 ページ\)](#)

廃止されたリリース

[Cisco HX の廃止されたリリース-ソフトウェア要件 \(65 ページ\)](#)



第 5 章

Cisco HX リリース 5.5 (x) -ソフトウェア要件

- [Cisco HX Data Platform の互換性と拡張性の詳細 - 5.5\(x\) リリース](#) (21 ページ)
- [FI/サーバーファームウェア - 5.5\(x\) リリース](#) (25 ページ)
- [5.5 \(x\) 展開向け HyperFlex Edge/DC-No-FI およびファームウェア互換性マトリックス](#) (27 ページ)
- [ストレッチ クラスタ用 HyperFlex 補助ノードの HX データ プラットフォーム ソフトウェア バージョン - 5.5\(x\) リリース](#) (28 ページ)
- [VMware ESXi のソフトウェア要件 - 5.5\(x\) リリース](#) (29 ページ)
- [ブラウザの推奨事項 - 5.5\(x\) リリース](#) (30 ページ)

Cisco HX Data Platform の互換性と拡張性の詳細 - 5.5(x) リリース

クラスタの制限

- Cisco HX Data Platform は、[VMware の最大設定](#)に従って、vCenter ごとに管理される最大 100 のクラスタをサポートします。
- Cisco HX Data Platform は、1つの FI ドメインで任意の数のクラスタをサポートします。各 HX コンバージド ノードは、FEX を使用せずにファブリック A とファブリック B の専用 FI ポートに直接接続する必要があります。C シリーズのコンピューティング専用ノードも、両方の FI に直接接続する必要があります。B シリーズのコンピューティング専用ノードは、シャーシ I/O モジュールを介して両方のファブリックに接続されます。最終的に、FI 上の物理ポートの数により、UCS ドメインでサポートされる最大クラスタ サイズおよび個別のクラスタの最大数が決定します。
- ファブリックインターコネクトを Top of Rack (ToR) スイッチに接続するアップリンクポートで FEX を使用することはサポートされません。これは、ネットワークがオーバーサブスクリプションになり、HyperFlex ストレージトラフィックを障害シナリオで処理できなくなる可能性があるためです。

次の表に、Cisco HX Data Platform の互換性と拡張性の詳細を示します。

表 8: Cisco HX Data Platform ストレージクラスタの仕様 (VMWare ESXi 向け)

ノード	VMware ESXi				ストレッチ クラスタ * (ESX でのみ使用可能)	
展開タイプ	FI 接続		エッジ	DC-No-FI	FI 接続	
HX サー バー (Intel および AMD サー バー)	HXAF245CM6SX	HX240C-M6L	HXAF245-M6SX	HXAF245CM6SX	HXAF245CM6SX	HX240C-M6L
	HXAF240CM6SX	HX240C-M5L	エッジ	HXAF240CM6SX	HXAF240CM6SX	HX240C-M5L
	HXAF240CM6SN		HXAF240C M5 Edge	HXAF240CM6SN	HXAF240CM6SN	
	HXAF240CM5SX		ショートデ プス	HXAF240CM5SX	HXAF240CM5SX	
	HXAF240CM5SN		HXAF240C	HXAF240C-M5	HXAF240C-M5	
	HXAF240C-M5		M5 Edge フル デプス	HXAF225C-M6S	HXAF225C-M6S	
	HXAF225C-M6S		HXAF240	HXAF220CM6SN	HXAF220CM6SN	
	HXAF220CM6SN		M5 Edge フル デプス	HXAF220CM6S	HXAF220C-M6S	
	HXAF220C-M6S		HXAF240 M6SX Edge	HXAF220C-M5	HXAF220CM5SN	
	HXAF220CM5SN		HXAF225-M6SX	HX245C-M6SX	HXAF220C-M5	
	HXAF220C-M5		エッジ	HX240C-M6SX	HX245C-M6SX	
	HX245C-M6SX		HXAF220C	HX240C-M6	HX240C-M6SX	
	HX240C-M6SX		M5 Edge	HX240C-M5	HX240C-M5	
	HX240C-M5		HXAF220	HX225C-M6S	HX225C-M6S	
	HX225C-M6S		M6S Edge	HX220C-M6S	HX220C-M6S	
	HX220C-M6S		HX245-M6SX	HX220C-M6	HX220C-M5	
	HX220C-M5		エッジ	HX220C-M5		
			HX240C M5 Edge ショー トデプス			
			HX240C M5 Edge フルデ プス			
			HX240 M6SX Edge			
		HX225-M6SX エッジ				
		HX220C M5 Edge				
		HX220 M6S Edge				

ノード	VMware ESXi				ストレッチ クラスター * (ESX でのみ使用可能)	
展開タイプ	FI 接続		エッジ	DC-No-FI	FI 接続	
コンピューティング専用 UCS B シリーズ/C シリーズサーバー	B200 M6 B200 M5 B480 M5 C220 M6/M5 C240 M6/M5 C480 M5 C225 M6 C245 M6	B200 M6 B200 M5 B480 M5 C220 M6/M5 C240 M6/M5 C480 M5	—	C220 M6 C220 M5 C225 M6 C245 M6 C240 M6 C240 M5	B200 M6 B200 M5 B480 M5 C220 M6/M5 C240 M6/M5 C480 M5 C225 M6 C245 M6	B200 M6 B200 M5 B480 M5 C220 M6/M5 C240 M6/M5 C480 M5
サポートされるノード	コンバージドおよびコンピューティング専用ノード	コンバージドおよびコンピューティング専用ノード	コンバージドノードのみ	コンバージドおよびコンピューティング専用ノード	コンバージドおよびコンピューティング専用ノード	コンバージドおよびコンピューティング専用ノード
HXDCD ライセンス取得済みノードの制限 HXDCD 対コンピューティング専用ノードの比率の 1:1 MinMax	コンバージドノード: 3 ~ 32 コンピューティング専用ノード: 0 ~ 32 コンピューティング専用ノード: 0 ~ 32 NVMe PID はすべて HXDP-DC-PR ライセンスが必要です	コンバージドノード: 3 ~ 16 コンピューティング専用ノード: 0 ~ 16	M5 コンバージドノード: 2、3、または 4	コンバージドノード: 3 ~ 12 コンピューティング専用ノード: 0 ~ 12 NVMe PID はすべて HXDP-DC-PR ライセンスが必要です	なし	なし

ノード	VMware ESXi				ストレッチ クラスタ * (ESX でのみ使用可能)	
展開タイプ	FI 接続		エッジ	DC-No-FI	FI 接続	
HNDQR ライセンス取得済みノードの制限 HNDQR 対コンピューティングノードの比率 1:2 MinMax	コンバージドノード: 3 ~ 32 コンピューティング専用ノード: 0 ~ 64 (最大クラスタサイズまで) コンピューティング専用ノード: 0 ~ 64 (最大クラスタサイズまで) NVMe PID はすべて HXDP-DC-PR ライセンスが必要です	コンバージドノード: 3 ~ 16 コンピューティング専用ノード: 0 ~ 32	M5 コンバージドノード: 2、3、または 4	コンバージドノード: 3 ~ 12 コンピューティング専用ノード: 0 ~ 24 HXAF220c M6SN に必要 HXAF240c M6SN HXAF220c M5SN NVMe PID はすべて HXDP-DC-PR ライセンスが必要です	コンバージドノード: サイトごとに 2 ~ 16 コンピューティング専用ノード: サイトごとに 0 ~ 21 (最大クラスタサイズまで) コンピューティング専用ノード: 0 ~ 64 (最大クラスタサイズまで)	コンバージドノード: サイトごとに 2 ~ 8 コンピューティング専用ノード: サイトごとに 0 ~ 16 (最大クラスタサイズまで)
クラスタの最大サイズ	96 ²	48	4 2022年5月2日 (rickwo) から、入力ごとに4に更新	36	サイトあたり 32/クラスタあたり 64	サイトあたり 24、クラスタあたり 48
コンピューティングからコンバージドへの最大比率	2:1	2:1	—	2:1	2:1	2:1
説明	✓	✓	✓ ³	✓	✓*	✓*

² 64 ノードを超えるクラスタサイズには、ESXi 7.0 U1 以降が必要です。

³ 1G ネットワークトポロジでのエッジクラスタの拡張はサポートされていません

FI/サーバーファームウェア - 5.5(x) リリース

新しいクラスタをインストールするか、既存のクラスタをアップグレードして、UCS FI/サーバーファームウェアバージョンに関するガイダンスが必要な場合は、[UCS サーバーファームウェアバージョンの選択 \(6 ページ\)](#) を参照してください。

全ての NVMe ノードでクラスタをインストールまたはアップグレードしている場合、以下のノートを参照してください。

表 9: M5/M6 サーバーの FI/サーバーファームウェアバージョン

リリース	M5 認定 FI/サーバーファームウェア	M6 認定 FI/サーバーファームウェア
HXDP 5.5(1x) の 5.5(1x) ⁴	4.2(1f)、4.2(1i)、4.2(1m)、4.2(1n)、4.2(3d)、4.2(3e)、4.2(3g)、4.2(3h)	4.2(1i)、4.2(1m)、4.2(1n)、4.2(3d)、4.2(3e)、4.2(3g)、4.2(3h)

⁴ HX240 M6 SED クラスタは、サーバーファームウェアバージョン 4.2(3g) でのみサポートされます。

重要な FI/サーバーファームウェアに関する注意事項：



制約事項 **3.6Tb および 7.8Tb 容量の Samsung SSD を使用する HXAF240-M5 クラスタ**：UCS 4.2(3) 以降をインストールしたり、UCS 4.2(3) 以降にアップグレードしたりしないでください。UCS 4.2(1n) A/B/C は、これらのドライブとの互換性が最も高いバージョンです。Samsung ドライブ (PID HX-SD76T61X-EV または HX-SD38T61X-EV (UCS-SD76T61X-EV または UCS-SD38T61X-EV)) を搭載したこれらのサーバーを UCS 4.2(3) 以降にアップグレードすると、サーバーの再起動後またはファームウェア中にドライブ障害が発生する可能性があります。詳細については、[CSCwf93621](#) を参照してください。

- **レガシー BIOS モード**：レガシー BIOS モードを使用しているすべての NVMe HyperFlex クラスタまたは、NVMe をキャッシングデバイスとして使用してレガシー bios を使用しているすべてのフラッシュは、サーバーファームウェアを 4.2(1m) または 4.2(1n) にアップグレードしません。詳細については、[CSCwd04797](#) を参照します。

BIOS バージョンを確認するには、[ファームウェアバージョンの確認](#) を参照します。

- **ファブリックインターコネクト 6400**：ご使用の環境（または展開）が、SFP-H25G-CU3M または SFP-H25G-CU5M ケーブルを使用して VIC 1455/1457 に接続されているファブリックインターコネクト 6400 である場合は、UCS リリース 4.0 (4k) または 4.1 (2a) 以降のみを使用してください。認定リリースの表に記載されている他の UCS バージョンは使用

しないでください。UCS リリース 4.0 (4k) 、または 4.1 (2a) 以降でない UCS リリースを使用すると、クラスタが停止する可能性があります。

環境に影響する可能性のある UCS の問題については、『[UCS Manager、ファームウェア/ドライバ、およびブレード BIOS のリリース ノート](#)』を参照してください。

SFP-H25G-CU3M または SFP-H25G-CU5M ケーブルを使用して VIC 1455/1457 に接続されているファブリック インターコネクト 6400 に対してのみ、次のアップグレードシーケンスを使用します。

- HX Connect から UCS サーバファームウェアをアップグレード
- Cisco UCS インフラストラクチャをアップグレード
- HXDP をアップグレード
- ESXi をアップグレード

記載されているハードウェアとソフトウェアの組み合わせの場合、UCS サーバファームウェアの複合アップグレードはサポートされません。ただし、HXDP と ESXi の複合アップグレードは、UCS サーバファームウェアと UCS インフラストラクチャファームウェアのアップグレードが完了した後にサポートされます。

現在の UCS F/W バージョンが 4.0(4k) または 4.1(2a) 以降の場合、UCS サーバファームウェア、HX、ESXi の組み合わせアップグレードがサポートされます。

- **Intersight エッジ サーバー** : 4.0 (1a) 以前の CIMC バージョンを実行している Intersight エッジサーバーについては、HUU にはファームウェアを更新するためのメカニズムが提案されます。

SED 注記 :

- 自己暗号化ドライブ (SED) を備えたクラスタの場合 :
 - HXDP バージョン 5.5(1x) の HX 240 M6 ノードは、サーバファームウェアバージョン 4.2(3g) のみを使用します。
 - HXDP バージョン 5.5(1x) の M5/M6 ノードは、サーバファームウェアバージョン 4.2(3d) 以降を使用します。

M6 固有の注記 :

- M6 サーバーで PCIE オフロードカードを使用する場合は、サーバーのファームウェアバージョン 4.2(1m) 以前、または 4.2(3g) 以降を使用してください。
- HX225 および HX245 M6 AMD ノードには、最小サーバファームウェアバージョン 4.2(1n) 以降が必要です。

一般的な注記：

HX コンポーネント (Cisco HX Data Platform インストーラ、Cisco HX Data Platform、および Cisco UCS ファームウェア) は、別個のサーバーにインストールされます。HX ストレージ クラスタ内で使用される各サーバーの各コンポーネントに互換性があることを確認します。

- 事前設定された HX サーバーと、インストールされている Cisco UCS サーバーファームウェアのバージョンが同じであることを確認します。Cisco UCS ファブリック インターコネクト (FI) のファームウェアバージョンが異なる場合、ファームウェアバージョンを配置する手順については『Cisco HyperFlex System アップグレードガイド』を参照してください。
- **M5:** 新しいハイブリッドまたはオールフラッシュ (Cisco HyperFlex HX220C-M5SX、HX240C-M5SX、HXAF220C-M5SX、HXAF240C-M5SX) 展開の場合、認定された UCS ファームウェアバージョンがインストールされていることを確認します。
- **M6:** 新しいハイブリッドまたはオールフラッシュ (Cisco HyperFlex HX220C-M6SX、HX240C-M6SX、HXAF220C-M6SX、HXAF240C-M6SX、HXAF225C-M6S、HXAF245C-M6SX、HX225C-M6S、HX245C-M6SX) 展開の場合、Cisco UCS Manager 4.2 (1i) 以降がインストールされていることを確認します。
- HXサーバーを再インストールするには、サポートされている互換性のあるソフトウェアのバージョンをダウンロードします。要件とステップについては『[Cisco HyperFlex Systems Installation Guide for VMware ESXi、リリース 5.5](#)』を参照してください。

5.5 (x) 展開向け HyperFlex Edge/DC-No-FI およびファームウェア互換性マトリックス

Cisco HX Data Platform リリース 5.5(x) に基づく導入

サーバーの M5/M6 コンポーネント ファームウェアが、次の表に示されている最小バージョン以上であることを確認します。

表 10: M5 および M6

コンポーネント	対象のファームウェアバージョン-HXDP5.5(x) *このセクションの冒頭にあるすべての注記を確認してください。
ホストアップグレードユーティリティ(HUU)バージョン	4.1(3f)、4.1(3h)、4.1(3i)、4.2(1i)、4.2(2g)、4.2(3d)、4.2(3e) および 4.2(3g) 220 用のソフトウェアのダウンロード 240 用のソフトウェアのダウンロード 次に、UCS サーバーファームウェア リンクをクリックして、目的の HUU バージョンをダウンロードします。
(注)	すべての NVMe ノードは、HX エッジ展開ではサポートされていません。



(注) HX Edge M6 ノードには、最小サーバーファームウェアバージョン 4.2(1i) 以降が必要です。

ストレッチクラスタ用 HyperFlex 補助ノードの HX データプラットフォームソフトウェアバージョン-5.5(x) リリース

HXDP 5.5(1a) を使用した新しいストレッチクラスタは、サイトアービトレーション用に非表示のクラウド監視を自動構成します。非表示クラウドウィットネスは、最新のバージョンを自動的に実行します。このコンポーネントのユーザメンテナンスは必要ありません。以前の HX リリースからアップグレードされたストレッチクラスタは、既存の 3 番目のサイト監視 VM で引き続き動作します。



(注) 以前の HXDP リリース (HXDP リリース 5.0(x) 以前) からアップグレードされたストレッチクラスタは、「[Cisco HyperFlex システム ストレッチクラスタガイド、リリース 5.0](#)」および「[VMware ESXi 向け Cisco HyperFlex システム アップグレードガイド、リリース 5.0](#)」で説明されているように、既存の 3 番目の監視のアップグレードを引き続き使用します。次の表に、サポートされている最新の監視 VM バージョンを示します。

ストレッチ クラスタ **HXDP 5.0(x)** 以前のレガシー **HyperFlex Witness** の **HXDP** ソフトウェアバージョン

- 補助ノードのバージョン : 1.1.3



(注) 旧バージョンの VM は、最新の HXDP バージョンにクラスタがアップグレードされるとサポートされます。

VMware ESXi のソフトウェア要件 - 5.5(x) リリース

ソフトウェアの要件には、互換性のある Cisco HyperFlex System (HX) コンポーネントおよび VMware vSphere、VMware vCenter、VMware ESXi のバージョンを使用していることの確認が含まれます。

- すべての HX サーバーに、互換性のある vSphere のバージョンがプレインストールされていることを確認します。
- vCenter のバージョンが ESXi のバージョンと同じかそれ以降であることを確認します。
- ESXi バージョン 7.0 U1 以前を実行しているクラスタは、ESXi 7.0 U2 以降で HXDP 5.5(1a) への複合アップグレードを実行する必要があります。
- HXDP リリース 4.0(2x) 以降を実行しているクラスタは、5.5(1a) に直接アップグレードできます。
- [VMware Product Interoperability Matrix](#) を参照して、vCenter と ESXi のバージョンに互換性があることを確認してください。ただし、このセクションのソフトウェア要件表に ESXi と vCenter の両方がサポート対象として記載されている場合に限りです。
- ルートレベルの権限および関連パスワードが付与された vCenter 管理者アカウントがあることを確認します。

次の表は、VMware vSphere の Enterprise、Enterprise Plus、Standard、Essentials Plus、ROBO エディションに適用されます。上記以外の VMware のライセンスエディション (Essentials Edition を含む) はサポートされていません。

表 11 : VMware ESXi のソフトウェア要件

バージョン	M5 サーバーの VMware ESXi バージョン	M6 サーバーの VMware ESXi バージョン
5.5(1a)	7.0 U2、7.0 U3、8.0 U1	7.0 U2、7.0 U3、8.0 U1

表 12: VMware vCenter のソフトウェア要件

バージョン	M5 サーバーの VMware vCenter バージョン	M6 サーバーの VMware vCenter バージョン
5.5(1a)	7.0 U2、7.0 U3、8.0 U1	7.0 U2、7.0 U3、8.0 U1

ブラウザの推奨事項 - 5.5(x) リリース

一覧表示された HyperFlex コンポーネントを実行するには、次のブラウザのいずれかを使用してください。これらのブラウザはすでにテストされ、承認済みです。他のブラウザも動作する可能性があります、すべての機能がテストされ、確認されているわけではありません。

表 13: サポートされるブラウザ

ブラウザ	Cisco Intersight	Cisco UCS Manager	HX Data Platform インストーラ	HX Connect
Microsoft Internet Explorer	NA	11 以降	11 以降	11 以降
Google Chrome	62 以降	57 以降	70 以降	70 以降
Mozilla Firefox	57 以降	45 以降	60 以降	60 以降
Apple Safari	10 以降	9 以降	該当なし	該当なし
Opera	該当なし	35 以降	該当なし	該当なし

注

- **Cisco HyperFlex Connect:**

推奨される最小解像度は 1024 x 768 です。

- **VMware ローカル プラグインアーキテクチャ:** サポートは、vSphere バージョン 6.5、6.7、および 7.0 に制限されています。詳細については、VMware サイトの「[vSphere Client Local plugins are deprecated \(87880\)](#)」の記事を参照してください。

- **Cisco UCS Manager:**

ブラウザは以下をサポートしている必要があります。

- Java ランタイム環境 1.6 以降
- 一部の機能には、Adobe Flash Player 10 以降が必要です。

ブラウザの最新情報については、Cisco UCS マネージャの導入についてのスタートアップガイド [Cisco UCS マネージャ スタートアップ ガイド](#) を参照します。



第 6 章

Cisco HX リリース 5.0 (x) -ソフトウェア要件

- [Cisco HX Data Platform の互換性と拡張性の詳細 - 5.0\(x\) リリース \(31 ページ\)](#)
- [FI/サーバーファームウェア - 5.0\(x\) リリース \(39 ページ\)](#)
- [5.0 \(x\) 展開向け HyperFlex Edge/DC-No-FI およびファームウェア互換性マトリックス \(42 ページ\)](#)
- [ストレッチ クラスタ用 HyperFlex 補助ノードの HX データ プラットフォーム ソフトウェア バージョン - 5.0 \(x\) リリース \(44 ページ\)](#)
- [VMware ESXi のソフトウェア要件 - 5.0\(x\) リリース \(44 ページ\)](#)
- [Microsoft Hyper-V のソフトウェア要件 - 5.0\(x\) リリース \(46 ページ\)](#)
- [ブラウザの推奨事項 - 5.0\(x\) リリース \(47 ページ\)](#)

Cisco HX Data Platform の互換性と拡張性の詳細 - 5.0(x) リリース

クラスタの制限

- Cisco HX Data Platform は、[VMware の最大設定](#)に従って、vCenter ごとに管理される最大 100 のクラスタをサポートします。
- Cisco HX Data Platform は、1 つの FI ドメインで任意の数のクラスタをサポートします。各 HX コンバージドノードは、FEX を使用せずにファブリック A とファブリック B の専用 FI ポートに直接接続する必要があります。C シリーズのコンピューティング専用ノードも、両方の FI に直接接続する必要があります。B シリーズのコンピューティング専用ノードは、シャーシ I/O モジュールを介して両方のファブリックに接続されます。最終的に、FI 上の物理ポートの数により、UCS ドメインでサポートされる最大クラスタ サイズおよび個別のクラスタの最大数が決定します。
- ファブリックインターコネクトを Top of Rack (ToR) スイッチに接続するアップリンクポートで FEX を使用することはサポートされません。これは、ネットワークがオーバー

サブスクリプションになり、HyperFlex ストレージトラフィックを障害シナリオで処理できなくなる可能性があるためです。

次の表に、Cisco HX Data Platform の互換性と拡張性の詳細を示します。

表 14 : Cisco HX Data Platform ストレージクラスターの仕様 (VMware ESXi 向け)

ノード	VMware ESXi			ストレッチクラスター * (ESX でのみ使用可能)		
展開タイプ	FI 接続		エッジ	DC-No-FI	FI 接続	
HX サー バー (Intel およ び AMD サー バー)	HX220C-M6S	HX240C-M6L		HX220C-M6	HX220C-M6S	HX240C-M6L
	HXAF220C-M6S	HX240C-M5L		HX240C-M6	HXAF220C-M6S	HX240C-M5L
	HXAF220C-M6SN			HX220C-M6S	HXAF220C-M6SN	
	HX240C-M6SX			HXAF220C-M6S	HX240C-M6SX	
	HXAF240C-M6SN			HXAF220C-M6SN	HXAF240C-M6SX	
	HXAF240C-M6SX			HX240C-M6SX	HXAF240C-M6SN	
	HXAF220C-M6SN			HXAF240C-M6SN	HXAF220C-M6SN	
	HXAF240C-M6SN			HXAF240C-M6SX	HX220C-M5	
	HXAF240C-M6SX			HX220C-M5	HXAF220C-M5	
	HXAF220C-M6SN			HXAF220C-M5	HX240C-M5	
	HXAF240C-M6SN			HX240C-M5	HXAF240C-M5	
	HX220C-M5			HXAF240C-M5	HXAF225C-M6S	
	HXAF220C-M5			HXAF240C-M6SX	HXAF245C-M6SX	
	HX240C-M5			HXAF225C-M6S	HX225C-M6S	
	HXAF240C-M5			HXAF245C-M6SX	HX245C-M6SX	
	HX220C M4			HX225C-M6S		
	HXAF220C-M4			HX245C-M6SX		
	HX240C M4					
	HXAF240C-M4					
	HXAF225C-M6S					
HXAF245C-M6SX						
HX225C-M6S						
HX245C-M6SX						

ノード	VMware ESXi			ストレッチ クラスタ * (ESX でのみ使用可能)		
展開タイプ	FI 接続		エッジ	DC-No-FI	FI 接続	
			HX240 M6SX Edge HXAF240 M6SX Edge HX220 M6S Edge HXAF220 M6S Edge HX240C M5 Edge フルデプス HXAF240C M5 Edge フルデプス HX240C M5 Edge ショートデプス HXAF240C M5 Edge ショートデプス HX220C M5 Edge HXAF220C M5 Edge HX220C M4 Edge HXAF220C M4 Edge HXAF225-M6SX エッジ HX225-M6SX エッジ HXAF245-M6SX エッジ			

ノード	VMware ESXi				ストレッチ クラスタ *(ESX でのみ使用可能)	
展開タイプ	FI 接続		エッジ	DC-No-FI	FI 接続	
			HX245-M6SX エッジ			
コンピューティング専用 UCS B シリーズ/C シリーズサーバー	B200 M6 ⁵ 、 B200 M5/M4、 B260 M4、 B420 M4、 B460 M4、 B480 M5、 C220 M6/M5/M4、 C240 M6/M5/M4、 C225 M6、 C245 M6	B200 M6 ⁶ 、 B200 M5/M4、 B260 M4、 B420 M4、 B460 M4、 B480 M5、 C220 M6/M5/M4、 C240 M6/M5/M4、 C460 M4、 C480 M5	-	C220 M6、 C220 M5 C225 M6、 C245 M6 C240 M6、 C240 M5	B200 M6 ⁷ 、 B200 M5/M4、 B260 M4、 B420 M4、 B460 M4、 B480 M5、 C220 M6/M5/M4、 C240 M6/M5/M4、 C225 M6、 C245 M6	B200 M6 ⁸ 、 B200 M5/M4、 B260 M4、 B420 M4、 B460 M4、 B480 M5、 C220 M6/M5/M4、 C240 M6/M5/M4、 C460 M4、 C480 M5
サポートされるノード	コンバージド およびコン ピューティン グ専用ノード	コンバージド およびコン ピューティン グ専用ノード	コンバージド ノードのみ	コンバージド およびコン ピューティン グ専用ノード	コンバージド およびコン ピューティン グ専用ノード	サポートされ るノード

ノード	VMware ESXi				ストレッチ クラスター * (ESX でのみ使用可能)	
展開タイプ	FI 接続		エッジ	DC-No-FI	FI 接続	
HXDP ライセンス取得済みノードの制限 HXDP 対コンピューティング専用ノードの比率の 1:1 MinMax	コンバージドノード: 3 ~ 32 コンピューティング専用ノード: 0 ~ 32 コンピューティング専用ノード: 0 ~ 32 NVMe PID はすべて HXDP-DC-PR ライセンスが必要です	コンバージドノード: 3 ~ 16 コンピューティング専用ノード: 0 ~ 16	M4 コンバージドノード: 3 M5 コンバージドノード: 2、3、または 4	コンバージドノード: 3 ~ 12 コンピューティング専用ノード: 0 ~ 12 NVMe PID はすべて HXDP-DC-PR ライセンスが必要です	なし	なし

ノード	VMware ESXi				ストレッチ クラスタ *(ESX でのみ使用可能)	
展開タイプ	FI 接続		エッジ	DC-No-FI	FI 接続	
HyperFlex ライセンス取得済みノードの制限 HyperFlex 対コンピューティングノードの比率 1:2 MinFlex	コンバージドノード: 3 ~ 32 コンピューティング専用ノード: 0 ~ 64 (最大クラスターサイズまで) コンピューティング専用ノード: 0 ~ 64 (クラスタの最大サイズ) NVMe PID はすべて HXDP-DC-PR ライセンスが必要です	コンバージドノード: 3 ~ 16 コンピューティング専用ノード: 0 ~ 32	M4 コンバージドノード: 3 M5 コンバージドノード: 2、3、または 4	コンバージドノード: 3 ~ 12 コンピューティング専用ノード: 0 ~ 24 HXAF220c M6SN、HXAF240c M6SN、HXAF220c M5SN に必要 NVMe PID はすべて HXDP-DC-PR ライセンスが必要です	コンバージドノード: サイトごとに 2 ~ 16 コンピューティング専用ノード: サイトごとに 0 ~ 21 (クラスタの最大サイズ) コンピューティング専用ノード: 0 ~ 64 (最大クラスターサイズまで)	コンバージドノード: サイトごとに 2 ~ 8 コンピューティング専用ノード: サイトごとに 0 ~ 16 (クラスタの最大サイズ)
クラスタの最大サイズ	96 ⁹	48	4	36	サイトあたり 32/クラスタあたり 64	サイトあたり 24、クラスタあたり 48
コンピューティングからコンバージドへの最大比率	2:1	2:1	—	2:1	2:1	2:1
説明	✓	✓	✓ ¹⁰	✓	✓*	✓*

- ⁵ B200 M6 のサポートは、HXDP リリース 5.0 (2b) 以降に限定されています。
- ⁶ B200 M6 のサポートは、HXDP リリース 5.0 (2b) 以降に限定されています。
- ⁷ B200 M6 のサポートは、HXDP リリース 5.0 (2b) 以降に限定されています。
- ⁸ B200 M6 のサポートは、HXDP リリース 5.0 (2b) 以降に限定されています。
- ⁹ 64 ノードを超えるクラスタサイズには、ESXi 7.0 U1 以降が必要です。
- ¹⁰ 1G ネットワークトポロジでのエッジクラスタの拡張はサポートされていません

表 15: Cisco HX Data Platform ストレージクラスタの仕様 (Microsoft Hyper-V 向け)

ノード	Microsoft Hyper-V	
展開タイプ	FI 接続	
HX サーバー	HX220c M5 HX220c AF M5 HX240c M5 HX240c M5	HX240c M5L
コンピューティング専用 UCS B シリーズ/C シリーズサーバー	C240 M5、C220 M5、B200 M4、B200 M5	C220 M5、C240 M5、B200 M4、B200 M5
サポートされるノード	コンバージドおよびコンピューティング専用ノード	コンバージドおよびコンピューティング専用ノード
HXDP-DC-AD ライセンス取得済みノードの制限 HXDP-DC-AD 対コンピューティング専用ノードの比率の 1:1 MinMax	コンバージドノード: 3 ~ 16 コンピューティング専用ノード: 0 ~ 16	コンバージドノード: 3 ~ 16 (12TB HDD オプションは HyperV ではサポートされていません) コンピューティング専用ノード: 0 ~ 16
HXDP-DC-PR ライセンス取得済みノードの制限 HXDP-DC-PR 対コンピューティング専用ノードの比率 1:2 MinMax	コンバージドノード: 3 ~ 16 コンピューティング専用ノード: 0 ~ 16	コンバージドノード: 3 ~ 12 (12TB HDD オプションは HyperV でサポートされていません) コンピューティング専用ノード: 0 ~ 16
クラスタの最大サイズ	32	32
コンピューティングからコンバージドへの最大比率	1:1	1:1
説明	✓	✓

FI/サーバーファームウェア - 5.0(x) リリース

新しいクラスタをインストールするか、既存のクラスタをアップグレードして、UCS FI/サーバーファームウェアバージョンに関するガイダンスが必要な場合は、[UCS サーバーファームウェアバージョンの選択 \(6 ページ\)](#) を参照してください。

全ての NVMe ノードでクラスタをインストールまたはアップグレードしている場合、以下のノートを参照してください。

表 16: M4/M5/M6 サーバーの FI/サーバーファームウェアバージョン

リリース	M4/M5 認定 FI/サーバーファームウェア	M6 認定 FI/サーバーファームウェア
11	4.0(4k)、4.0(4m) 4.1(1e)、4.1(2a)、4.1(2c)、4.1(3e)、4.1(3f)、4.1(3h)、 4.1(3i)、4.1(3j)、4.1(3k) 4.2(1f)、4.2(1i)、4.2(1m)、4.2(1n)、4.2(3d)、4.2(3g)、 4.2(3h)、4.2(3i) ¹²	4.2(1i)、4.2(1m)、 4.2(1n)、4.2(3d)、 4.2(3g)、4.2(3h)、 4.2(3i) ¹³
14	4.0(4k)、4.0(4m) 4.1(1e)、4.1(2a)、4.1(2c)、4.1(3e)、4.1(3f)、4.1(3h)、 4.1(3i)、4.1(3j)、4.1(3k) 4.2(1f)、4.2(1i)、4.2(1m)、4.2(1n)、4.2(3d)、4.2(3e)、 4.2(3g)、4.2(3h)	4.2(1i)、4.2(1f)、4.2(1i)、 4.2(1m)、4.2(1n)、 4.2(3d)、4.2(3e)、 4.2(3g)、4.2(3h)
15	4.0(4k)、4.0(4m) 4.1(1e)、4.1(2a)、4.1(2c)、4.1(3e)、4.1(3f)、4.1(3h)、 4.1(3i)、4.1(3j)、4.1(3k) 4.2(1f)、4.2(1i)、4.2(1m)、4.2(1n)、4.2(3d)、4.2(3e)、 4.2(3g)	4.2(1i)、4.2(1m)、 4.2(1n)、4.2(3d)、 4.2(3e)、4.2(3g)
5.0(2c) ¹⁶	4.0(4k)、4.0(4m) 4.1(1e)、4.1(2a)、4.1(2c)、4.1(3e)、4.1(3f)、4.1(3h)、 4.1(3i)、4.1(3j)、4.1(3k) 4.2(1f)、4.2(1i)、4.2(1m)、4.2(1n)、4.2(3d)。	4.2(1i)、4.2(1m)、 4.2(1n)、4.2(3d)
5.0 (2b)	4.0(4k)、4.0(4m) 4.1(1e)、4.1(2a)、4.1(2c)、4.1(3e)、4.1(3f)、4.1(3h)、 4.1(3i)、4.1(3j) 4.2(1f)、4.2(1i)、4.2(1m)、4.2(1n)	4.2(1i)、4.2(1m)、 4.2(1n))5.0(2c) ¹⁷

リリース	M4/M5 認定 FI/サーバーファームウェア	M6 認定 FI/サーバーファームウェア
5.0(2a)	4.0(4k)、4.0(4m) 4.1(1e)、4.1(2a)、4.1(2c)、4.1(3e)、4.1(3f)、4.1(3h)、 4.1(3i)、4.1(3j) 4.2(1f)、4.2(1i)、4.2(1m)、4.2(1n)	4.2 (1i) 、 4.2 (1m) 、 4.2 (1n)
5.0(1x)	4.0(4k)、4.0(4m) 4.1(1e)、4.1(2a)、4.1(2c)、4.1(3e)、4.1(3f)、4.1(3h)、 4.1(3i)、4.1(3j) 4.2(1f)、4.2(1i)、4.2(1m)、4.2(1n)	4.2 (1i) 、 4.2 (1m) 、 4.2 (1n)

- ¹¹ HXDP リリース 5.0(2f) の 5.0(2f) HX240 M6 SED クラスタは、サーバファームウェアバージョン 4.2(3g) でのみサポートされます。
- ¹² サーバファームウェア 4.2(3i) を実行可能 UCS インフラストラクチャ (A バンドル) 4.2(3i) または 4.3(2e)。インフラストラクチャ ファームウェア 4.3(2e) との相互互換性は、サーバファームウェア 4.2(3i) でのみサポートされます。
- ¹³ サーバファームウェア 4.2(3i) は、UCS インフラストラクチャ (バンドル 4.2(3i) または 4.3(2e)) で実行できます。インフラストラクチャ ファームウェア 4.3(2e) との相互互換性は、サーバファームウェア 4.2(3i) でのみサポートされます。
- ¹⁴ HXDP リリース 5.0(2e) の 5.0(2e) HX240 M6 SED クラスタは、サーバファームウェアバージョン 4.2(3g) でのみサポートされます。
- ¹⁵ HXDP リリース 5.0(2d) の 5.0(2d) HX240 M6 SED クラスタは、サーバファームウェアバージョン 4.2(3g) でのみサポートされます。
- ¹⁶ HX240 M6 SED クラスタはサポートされていません。
- ¹⁷ HX240 M6 SED クラスタはサポートされていません。

重要な FI/サーバーファームウェアに関する注意事項：



制約事項 **3.6Tb および 7.8Tb 容量の Samsung SSD を使用する HXAF240-M5 クラスタ**：UCS 4.2(3) 以降をインストールしたり、UCS 4.2(3) 以降にアップグレードしたりしないでください。UCS 4.2(1n) A/B/C は、これらのドライブとの互換性が最も高いバージョンです。Samsung ドライブ (PID HX-SD76T61X-EV または HX-SD38T61X-EV (UCS-SD76T61X-EV または UCS-SD38T61X-EV)) を搭載したこれらのサーバを UCS 4.2(3) 以降にアップグレードすると、サーバの再起動後またはファームウェア中にドライブ障害が発生する可能性があります。詳細については、[CSCwf93621](#) を参照してください。

- **レガシー BIOS モード**：レガシー BIOS モード、サーバファームウェアを 4.1(3h)、4.1(3i)、4.1(3j)、4.2(1m) または 4.2(1n) にアップグレードしません。詳細については、[CSCwd04797](#) を参照します。

BIOS バージョンを確認するには、[ファームウェアバージョンの確認](#) を参照します。

- **ファブリックインターコネクト 6400** : ご使用の環境（または展開）が、SFP-H25G-CU3M または SFP-H25G-CU5M ケーブルを使用して VIC 1455/1457 に接続されているファブリックインターコネクト 6400 である場合は、UCS リリース 4.0 (4k) または 4.1 (2a) 以降のみを使用してください。認定リリースの表に記載されている他の UCS バージョンは使用しないでください。UCS リリース 4.0 (4k) 、または 4.1 (2a) 以降でない UCS リリースを使用すると、クラスタが停止する可能性があります。

環境に影響する可能性のある UCS の問題については、『[UCS Manager、ファームウェア/ドライバ、およびブレード BIOS のリリース ノート](#)』を参照してください。

SFP-H25G-CU3M または SFP-H25G-CU5M ケーブルを使用して VIC 1455/1457 に接続されているファブリックインターコネクト 6400 に対してのみ、次のアップグレードシーケンスを使用します。

- HX Connect から UCS サーバーファームウェアをアップグレードします。
- Cisco UCS インフラストラクチャをアップグレードします。
- HXDP をアップグレードします。
- ESXi をアップグレードします。

記載されているハードウェアとソフトウェアの組み合わせの場合、UCS サーバーファームウェアの複合アップグレードはサポートされません。ただし、HXDP と ESXi の複合アップグレードは、UCS サーバーファームウェアと UCS インフラストラクチャファームウェアのアップグレードが完了した後にサポートされます。

現在の UCS F/W バージョンが 4.0(4k) または 4.1(2a) 以降の場合、UCS サーバーファームウェア、HX、ESXi の組み合わせアップグレードがサポートされます。

- **Intersight エッジサーバー** : 4.0 (1a) 以前の CIMC バージョンを実行している Intersight エッジサーバーについては、HUU にはファームウェアを更新するためのメカニズムが提案されます。

SED 注記 :

- 自己暗号化ドライブ (SED) を備えたクラスタの場合 :
 - HXDP バージョン 5.0 (1x) の M6 ノードは、サーバーファームウェアバージョン 4.2 (1i) のみを使用します。
 - HXDP バージョン 5.0 (2a) の M6 ノードは、サーバーファームウェアバージョン 4.2 (1m) 以降を使用します。
 - HXDP バージョン 5.0(2b) の M5/M6 ノードは、サーバーファームウェアバージョン 4.2(3d) 以降を使用します。
- 次の UCS サーバーファームウェアバージョンは、自己暗号化ドライブ (SED) を持つクラスタではサポートされていません。

- M4/M5 : 4.1(2a)、4.1(2c)、4.1(3e)、4.1(3f)、4.1(3h)、4.1(3i)、4.2(1f)、4.1(3j)、4.2(1i)、4.2(1m)、4.2(1n). 詳細については、[CSCvv69704](#) を参照してください。
- HX240 M6 : 4.2(3b). 詳細については、[CSCwe56797](#) および [CSCwe33804](#) を参照してください。

M6 固有の注記 :

- M6 サーバーで PCIE-Offload カードを使用している場合は、サーバーファームウェア 4.2(1n) 以降を使用しないでください。
- HX225 および HX245 M6 AMD ノードには、最小サーバーファームウェアバージョン 4.2(1n) 以降が必要です。

一般的な注記 :

HX コンポーネント (Cisco HX Data Platform インストーラ、Cisco HX Data Platform、および Cisco UCS ファームウェア) は、別個のサーバーにインストールされます。HX ストレージクラス内で使用される各サーバーの各コンポーネントに互換性があることを確認します。

- 事前設定された HX サーバーと、インストールされている Cisco UCS サーバーファームウェアのバージョンが同じであることを確認します。Cisco UCS ファブリック インターコネクト (FI) のファームウェアバージョンが異なる場合、ファームウェアバージョンを配置する手順については『Cisco HyperFlex System アップグレードガイド』を参照してください。
- **M5:** 新しいハイブリッドまたはオールフラッシュ (Cisco HyperFlex HX220C-M5SX、HX240C-M5SX、HXAF220C-M5SX、HXAF240C-M5SX) 展開の場合、認定された UCS ファームウェアバージョンがインストールされていることを確認します。
- HX サーバーを再インストールするには、サポートされている互換性のあるソフトウェアのバージョンをダウンロードします。要件とステップについては『[Cisco HyperFlex Systems Installation Guide for VMware ESXi、リリース 5.0](#)』を参照してください。

5.0 (x) 展開向け HyperFlex Edge/DC-No-FI およびファームウェア互換性マトリックス

Cisco HX Data Platform リリース 5.0(x) に基づく導入

サーバーのコンポーネントファームウェアが、次の表に示されている最小バージョン以上であることを確認します。



重要 HyperFlex Edge は、Cisco IMC バージョン 4.0 (4a)、4.0 (4b)、4.0 (4c)、4.0 (4d)、および 4.0 (4e) をサポートしていません。

表 17: HX220c M4 / HXAF220c M4 クラスタ

コンポーネント	対象のファームウェアバージョン - HXDP 5.0x *このセクションの冒頭にあるすべての注記を確認してください。
ホストアップグレードユーティリティ(HUU)バージョン	4.0(2h) ¹⁸ 、4.1(2g)、4.1(2h) ソフトウェアのダウンロード 次に、UCS サーバーファームウェアリンクをクリックして、目的の HUU バージョンをダウンロードします。
(注)	M4 は DC-No-FI ではサポートされていません。

¹⁸ DC-No-FI は、4.0(x) では適用/サポートされていません。

表 18: HX220C-M5SX / HXAF220C-M5SX、HX240C-M5SX / HXAF240C-M5SX (フルデブス) クラスタ / HX220C M5 / HXAF220C M5 / HXAF220C-M5SN and HXAF240C-M5SN

コンポーネント	対象のファームウェアバージョン - HXDP 5.0.x *このセクションの冒頭にあるすべての注記を確認してください。
ホストアップグレードユーティリティ(HUU)バージョン	4.1(3f)、4.1(3h)、4.1(3i)、4.2(2g)、4.2(3d)、4.2(3e)、4.2(3g) 220 用のソフトウェアのダウンロード 240 用のソフトウェアのダウンロード 次に、UCS サーバーファームウェアリンクをクリックして、目的の HUU バージョンをダウンロードします。
(注)	すべての NVMe ノードは、HX エッジ展開ではサポートされていません。

表 19: HX220C-M6S / HX240C-M6SX / HXAF240C-M6SX / HX220C-M6S / HXAF220C-M6S / HXAF220C-M6SN / HXAF240C-M6SN / HXAF245C-M6SX / HX245C-M6SX / HXAF225C-M6SX / HX225C-M6SX / HXAF245C-M6SN / HXAF225C-M6SN

コンポーネント	対象のファームウェア バージョン - HXDP 5.0.x *このセクションの冒頭にあるすべての注記を確認してください。
Host Upgrade Utility (HUU) ダウンロードリンク	4.1(3f)、4.1(3h)、4.1(3i)、4.2(1i)、4.2(2g)、4.2(3d)、4.2(3e)、4.2(3g) 220 用のソフトウェアのダウンロード 240 用のソフトウェアのダウンロード 次に、UCS サーバーファームウェアリンクをクリックして、目的の HUU バージョンをダウンロードします。
(注)	すべての NVMe ノードは、HX エッジ展開ではサポートされていません。
(注)	HX Edge HX225 および HX245 M6 AMD ノードには、最小サーバーファームウェアバージョン 4.2 (1i) 以降が必要です。

ストレッチクラスタ用 HyperFlex 補助ノードの HX データプラットフォームソフトウェアバージョン - 5.0 (x) リリース

表 20: ストレッチクラスタ用 HyperFlex 補助ノードの HX データプラットフォームソフトウェアバージョン

HyperFlex リリース	補助ノードのバージョン
5.0(x)	1.1.3

VMware ESXi のソフトウェア要件 - 5.0(x) リリース

ソフトウェアの要件には、互換性のある Cisco HyperFlex System (HX) コンポーネントおよび VMware vSphere、VMware vCenter、VMware ESXi のバージョンを使用していることの確認が含まれます。

- すべての HX サーバーに、互換性のある vSphere のバージョンがプレインストールされていることを確認します。
- vCenter のバージョンが ESXi のバージョンと同じかそれ以降であることを確認します。

- **VMware Product Interoperability Matrix** を参照して、vCenter と ESXi のバージョンに互換性があることを確認してください。次の表で ESXi と vCenter の両方がサポートされている限り、新しいバージョンの vCenter を古いバージョンの ESXi とともに使用することができます。
- ルートレベルの権限および関連パスワードが付与された vCenter 管理者アカウントがあることを確認します。
- HX-PCIE-OFFLOAD-1 のインストールまたは拡張を使用する M6 ノードには、ESXi 7.0 Update 3d 以前が必要です。

次の表は、VMware vSphere の Enterprise、Enterprise Plus、Standard、Essentials Plus、ROBO エディションに適用されます。上記以外の VMware のライセンスエディション（Essentials Edition を含む）はサポートされていません。

表 21: VMware ESXi のソフトウェア要件

バージョン	M4 および M5 サーバーの VMware ESXi バージョン	M6 サーバーの VMware ESXi バージョン
5.0(2f)	6.5 U3、6.7 U3、7.0 U2、7.0 U3	6.7 U3、7.0 U2、7.0 U3
5.0(2e)	6.5 U3、6.7 U3、7.0 U2、7.0 U3	6.7 U3、7.0 U2、7.0 U3
5.0(2d)	6.5 U3、6.7 U3、7.0 U2、7.0 U3	6.7 U3、7.0 U2、7.0 U3
5.0(2c)	6.5 U3、6.7 U3、7.0 U2、7.0 U3	6.7 U3、7.0 U2、7.0 U3
5.0 (2b)	6.5 U3、6.7 U3、7.0 U2、7.0 U3	6.7 U3、7.0 U2、7.0 U3
5.0(2a)	6.5 U3、6.7 U3、7.0 U2、7.0 U3	6.7 U3、7.0 U2、7.0 U3
5.0(1x)	6.5 U3、6.7 U3、7.0 U2	6.7 U3、7.0 U2

表 22: VMware vCenter のソフトウェア要件

バージョン	M4 および M5 サーバーの VMware vCenter バージョン	M6 サーバーの VMware vCenter バージョン
5.0(2f)	6.5 U3、6.7 U3、7.0 U2、7.0 U3	6.7 U3、7.0 U2、7.0 U3
5.0(2e)	6.5 U3、6.7 U3、7.0 U2、7.0 U3	6.7 U3、7.0 U2、7.0 U3
5.0(2d)	6.5 U3、6.7 U3、7.0 U2、7.0 U3	6.7 U3、7.0 U2、7.0 U3
5.0(2c)	6.5 U3、6.7 U3、7.0 U2、7.0 U3	6.7 U3、7.0 U2、7.0 U3
5.0 (2b)	6.5 U3、6.7 U3、7.0 U2、7.0 U3	6.7 U3、7.0 U2、7.0 U3
5.0(2a)	6.5 U3、6.7 U3、7.0 U2、7.0 U3	6.7 U3、7.0 U2、7.0 U3

バージョン	M4 および M5 サーバーの VMware vCenter バージョン	M6 サーバーの VMware vCenter バージョン
5.0(1x)	6.5 U3、6.7 U3、7.0 U2、7.0 U3	6.7 U3、7.0 U2、7.0 U3



- (注) vSphere 6.x ユーザーの場合。VMware は、2022 年 10 月 15 日に vSphere 6.5 および 6.7 の一般サポートを終了することを発表しました。Cisco では、サポートされている VMware vSphere 7.x リリースにできるだけ早くアップグレードし、[\[General Recommendation for New and Existing Deployments \(新規および既存の展開向けの一般的な推奨事項\)\]](#) で説明されている Cisco の推奨事項に従うことを強く推奨します。

Microsoft Hyper-V のソフトウェア要件 - 5.0(x) リリース

ソフトウェア要件には、互換性のある Cisco HyperFlex System (HX) コンポーネントおよび Microsoft Hyper-V (Hyper-V) コンポーネントのバージョンを使用していることを確認するための検証が含まれています。

HyperFlex ソフトウェアのバージョン

HX コンポーネント (Cisco HX Data Platform インストーラ、Cisco HX Data Platform、および Cisco UCS ファームウェア) は、別個のサーバーにインストールされます。HX ストレージクラスター内で使用される各サーバーの各コンポーネントに互換性があることを確認します。インストール要件および手順に関する詳細は、『*Microsoft Hyper-V の Cisco HyperFlex システム インストールガイド*』を参照してください。

表 23: Hyper-V 上の M5 サーバー用の認定サーバーファームウェア

HyperFlex リリース	M5 認定サーバーファームウェア
5.0(x)	4.1(3f)

表 24: サポートされる **Microsoft** ソフトウェア バージョン

Microsoft コンポーネント	バージョン
Windows オペレーティング システム (Windows OS)	<p>Windows Server 2016 Datacenter Datacenter Core および Desktop Experience。</p> <p>(注) Windows Server 2016 Datacenter Core & Desktop Experience では、Windows 2016 ISO イメージは少なくとも Update Build Revision (UBR) 1884 である必要があります。</p> <p>Windows Server 2019 Datacenter-デスクトップ エクスペリエンスは、HXDP 4.0.1 (a) 以降からサポートされています。</p> <p>(注) Windows Server 2019 Desktop Experience では、Windows 2019 ISO イメージは少なくとも Update Build Revision (UBR) 107 である必要があります。</p> <p>Windows Server 2019 Datacenter-Core は現在サポートされていません。</p> <p>また、以下は現在サポートされていないことに注意してください。</p> <p>ISO および Retail ISO をアクティベートした OEM は現在サポートされていません。</p> <p>Windows 2012r2 などの Windows Server の以前のバージョンはサポートされていません。</p> <p>ISO の英語以外のバージョンはサポートされていません。</p>
Active Directory	Windows 2012 以降のドメインおよびフォレスト機能レベル

サポートされている **Microsoft** ライセンス エディション

1 個以上の HyperFlex ホストにインストールされている Microsoft Windows Server のバージョンは、『[Microsoft ライセンス取得](#)』に記載されている Microsoft ライセンス要件に従ってライセンスが取得されている必要があります。

ブラウザの推奨事項 - 5.0(x) リリース

一覧表示された HyperFlex コンポーネントを実行するには、次のブラウザのいずれかを使用してください。これらのブラウザはすでにテストされ、承認済みです。他のブラウザも動作する可能性があります、すべての機能がテストされ、確認されているわけではありません。

表 25: サポートされるブラウザ

ブラウザ	Cisco Intersight	Cisco UCS Manager	HX Data Platform インストーラ	HX Connect
Microsoft Internet Explorer	NA	11 以降	11 以降	11 以降
Google Chrome	62 以降	57 以降	70 以降	70 以降
Mozilla Firefox	57 以降	45 以降	60 以降	60 以降
Apple Safari	10 以降	9 以降	該当なし	該当なし
Opera	該当なし	35 以降	該当なし	該当なし

注

- **Cisco HyperFlex Connect:**

推奨される最小解像度は 1024 x 768 です。

- **Cisco HX Data Platform プラグイン:**

Cisco HX Data Platform プラグイン は vSphere 内で動作します。VMware ホストのクライアントシステムブラウザの要件については、[VMwareのマニュアル](#)を参照してください。

Cisco HX Data Platform プラグイン は vCenter HTML クライアントには表示されません。vCenter フラッシュ クライアントを使用する必要があります。

- **Cisco UCS Manager:**

ブラウザは以下をサポートしている必要があります。

- Java ランタイム環境 1.6 以降
- 一部の機能には、Adobe Flash Player 10 以降が必要です。

ブラウザの最新情報については、Cisco UCS マネージャの導入についてのスタートアップガイド[Cisco UCS マネージャ スタートアップガイド](#)を参照します。



第 7 章

Cisco HX リリース 4.5 (x) -ソフトウェア要件

- [Cisco HX Data Platform の互換性と拡張性の詳細 - 4.5\(x\) リリース \(49 ページ\)](#)
- [FI/サーバーファームウェア - 4.5\(x\) リリース \(54 ページ\)](#)
- [4.5 \(x\) 展開向け HyperFlex Edge/DC-No-FI およびファームウェア互換性マトリックス \(57 ページ\)](#)
- [ストレッチ クラスタ用 HyperFlex 補助ノードの HX データ プラットフォーム ソフトウェア バージョン - 4.5 \(x\) リリース \(58 ページ\)](#)
- [VMware ESXi のソフトウェア要件 - 4.5\(x\) リリース \(58 ページ\)](#)
- [Microsoft Hyper-V のソフトウェア要件 - 4.5\(x\) リリース \(62 ページ\)](#)
- [ブラウザの推奨事項 - 4.5\(x\) リリース \(63 ページ\)](#)

Cisco HX Data Platform の互換性と拡張性の詳細 - 4.5(x) リリース

クラスタの制限

- Cisco HX Data Platform は、[VMware の最大設定](#)に従って、vCenter ごとに管理される最大 100 のクラスタをサポートします。
- Cisco HX Data Platform は、1 つの FI ドメインで任意の数のクラスタをサポートします。各 HX コンバージドノードは、FEX を使用せずにファブリック A とファブリック B の専用 FI ポートに直接接続する必要があります。C シリーズのコンピューティング専用ノードも、両方の FI に直接接続する必要があります。B シリーズのコンピューティング専用ノードは、シャーシ I/O モジュールを介して両方のファブリックに接続されます。最終的に、FI 上の物理ポートの数により、UCS ドメインでサポートされる最大クラスタ サイズおよび個別のクラスタの最大数が決定します。
- ファブリックインターコネクトを Top of Rack (ToR) スイッチに接続するアップリンクポートで FEX を使用することはサポートされません。これは、ネットワークがオーバー

サブスクリプションになり、HyperFlex ストレージトラフィックを障害シナリオで処理できなくなる可能性があるためです。

次の表に、Cisco HX Data Platform の互換性と拡張性の詳細を示します。

表 26: Cisco HX Data Platform ストレージクラスターの仕様 (VMWare ESXi 向け)

ノード	VMware ESXi					ストレッチクラスター* (ESX でのみ使用可能)	
展開タイプ	FI 接続			エッジ	DC-No-FI	FI 接続	
HX サーバー	HX220c M5	HX240c M5L	HXAF220c M5SN	HX240c M5 Edge フル デプ ス	HX220c M5	HX220c M5	HX240c M5L
	HX220c AF M5		HXAF240c M5SN		HX220c AF M5		
	HX240c M5			HXAF240c M5 Edge フル デプ ス	HX240c M5	HX240c M5	
	HX240c M5				HX240c M5	HX240c M5	
	HX220c M4			HX240c M5 Edge ショート デプス		HXAF220c M5SN	
	HX220c M4						
	HX240c M4			HXAF240c M5 Edge ショート デプス			
	HX240c M4						
					HX220c M5 Edge		
					HXAF220c M5 Edge		
				HX220c M4 Edge			
				HXAF220c M4 Edge			

ノード	VMware ESXi				ストレッチクラスタ* (ESX でのみ使用可能)		
展開タイプ	FI 接続			エッジ	DC-No-FI	FI 接続	
コンピューティング専用 UCS B シリーズ/C シリーズサーバー	B200 M5/M4、 B260 M4、 B420 M4、 B460 M4、 B480 M5、 C220 M5/M4、 C240 M5/M4、 C460 M4、 C480 M5	B200 M5/M4、 B260 M4、 B420 M4、 B460 M4、 B480 M5、 C220 M5/M4、 C240 M5/M4、 C460 M4、 C480 M5	B200 M5/M4、 B260 M4、 M4、B420 M4、 B460 M4、 M4、B480 M5、 C220 M5/M4、 C240 M5/M4、 C460 M4、 M4、C480 M5	—	C220 M5 C240 M5	B200 M5/M4、 B260 M4、 M4、B420 M4、 B460 M4、 M4、B480 M5、 C220 M5/M4、 C240 M5/M4、 C460 M4、 M4、C480 M5	B200 M5/M4、 B260 M4、 M4、B420 M4、 B460 M4、 M4、B480 M5、 C220 M5/M4、 C240 M5/M4、 C460 M4、 M4、C480 M5
サポートされるノード	コンバージドおよびコンピューティング専用ノード	コンバージドおよびコンピューティング専用ノード	コンバージドおよびコンピューティング専用ノード	コンバージドノードのみ	コンバージドおよびコンピューティング専用ノード	コンバージドおよびコンピューティング専用ノード	コンバージドおよびコンピューティング専用ノード
HXDPCAD ライセンス取得済みノードの制限 HXDPCAD 対コンピューティング専用ノードの比率の 1:1 MinMax	コンバージドノード: 3 ~ 32 コンピューティング専用ノード: 0 ~ 32 コンピューティング専用ノード: 0 ~ 32	コンバージドノード: 3 ~ 16 コンピューティング専用ノード: 0 ~ 16	なし	M4 コンバージドノード: 3 M5 コンバージドノード: 2、3、または 4	コンバージドノード: 3 ~ 12 コンピューティング専用ノード: 0 ~ 12	なし	なし

ノード	VMware ESXi				ストレッチクラスタ* (ESX でのみ使用可能)		
展開タイプ	FI 接続			エッジ	DC-No-FI	FI 接続	
HXDPDCPR ライセンス取得済みノードの制限 HXDPDCPR 対コンピューティングノードの比率 1:2 MinMax	コンバージドノード: 3 ~ 32 コンピューティング専用ノード: 0 ~ 64 (最大クラスタサイズまで) コンピューティング専用ノード: 0 ~ 64 (クラスタの最大サイズ)	コンバージドノード: 3 ~ 16 コンピューティング専用ノード: 0 ~ 32	コンバージドノード: 3 ~ 32 コンピューティング専用ノード: 0 ~ 64 (クラスタの最大サイズ)	M4 コンバージドノード: 3 M5 コンバージドノード: 2、3、または 4	コンバージドノード: 3 ~ 12 コンピューティング専用ノード: 0 ~ 24 HXAF220c MSSN に必要	コンバージドノード: サイトごとに 2 ~ 16 コンピューティング専用ノード: サイトごとに 0 ~ 21 (クラスタの最大サイズ) コンピューティング専用ノード: 0 ~ 64 (最大クラスタサイズまで)	コンバージドノード: サイトごとに 2 ~ 8 コンピューティング専用ノード: サイトごとに 0 ~ 16 (クラスタの最大サイズ)
クラスタの最大サイズ	96 ¹⁹	48	96	4	36	サイトあたり 32/クラスタあたり 64	サイトあたり 24、クラスタあたり 48
コンピューティングからコンバージドへの最大比率	2:1	2:1	2:1	—	2:1	2:1	2:1
説明	✓	✓	✓	✓ ²⁰	✓	✓*	✓*

¹⁹ 64 ノードを超えるクラスタサイズには、ESXi 7.0 U1 以降が必要です。

²⁰ 1G ネットワークトポロジでのエッジクラスターの拡張はサポートされていません

表 27: Cisco HX Data Platform ストレージクラスターの仕様 (Microsoft Hyper-V 向け)

ノード	Microsoft Hyper-V	
展開タイプ	FI 接続	
HX サーバー	HX220c M5 HX220c AF M5 HX240c M5 HX240c M5	HX240c M5L
コンピューティング専用 UCS B シリーズ/C シリーズサーバー	C240 M5、C220 M5、B200 M4、B200 M5	C220 M5、C240 M5、B200 M4、B200 M5
サポートされるノード	コンバージドおよびコンピューティング専用ノード	コンバージドおよびコンピューティング専用ノード
HXDP-DC-AD ライセンス取得済みノードの制限 HXDP-DC-AD 対コンピューティング専用ノードの比率の 1:1 MinMax	コンバージドノード: 3 ~ 16 コンピューティング専用ノード: 0 ~ 16	コンバージドノード: 3 ~ 16 (12TB HDD オプションは HyperV ではサポートされていません) コンピューティング専用ノード: 0 ~ 16
HXDP-DC-PR ライセンス取得済みノードの制限 HXDP-DC-PR 対コンピューティング専用ノードの比率 1:2 MinMax	コンバージドノード: 3 ~ 12 コンピューティング専用ノード: 0 ~ 16	コンバージドノード: 3 ~ 12 (12TB HDD オプションは HyperV でサポートされていません) コンピューティング専用ノード: 0 ~ 16
クラスターの最大サイズ	32	32
コンピューティングからコンバージドへの最大比率	1:1	1:1
説明	✓	✓

*両方のサイトで同一の拡張を行う必要があります

FI/サーバーファームウェア - 4.5(x) リリース

新しいクラスタをインストールするか、既存のクラスタをアップグレードして、UCS FI/サーバーファームウェアバージョンに関するガイダンスが必要な場合は、[UCS サーバーファームウェアバージョンの選択 \(6 ページ\)](#) を参照してください。

全ての NVMe ノードでクラスタをインストールまたはアップグレードしている場合、以下のノートを参照してください。

表 28: M4/M5 サーバーの FI/サーバーファームウェアバージョン

リリース	M4/M5 認定 FI/サーバーファームウェア
4.5(2e)	4.0 (4k) 、 4.0 (4m) 、 4.1 (1e) 、 4.1 (2a) *、 4.1 (2c) *、 4.1 (3e) 、 4.1 (3f) 、 4.1 (3h) 、 4.1 (3i) 、 4.2 (1f) 、 4.2 (1i) 、 4.2 (1m) 、 4.2 (1n)
4.5(2d)	4.0 (4k) 、 4.0 (4m) 、 4.1 (1e) 、 4.1 (2a) *、 4.1 (2c) *、 4.1 (3e) 、 4.1 (3f) 、 4.1 (3h) 、 4.1 (3i) 、 4.2 (1f) 、 4.2 (1i) 、 4.2 (1m) 、 4.2 (1n)
4.5(2c)	4.0 (4k) 、 4.0 (4m) 、 4.1 (1e) 、 4.1 (2a) *、 4.1 (2c) *、 4.1 (3e) 、 4.1 (3f) 、 4.1 (3h) 、 4.1 (3i) 、 4.2 (1f) 、 4.2 (1i) 、 4.2 (1m) 、 4.2 (1n)
4.5(2b)	4.0 (4k) 、 4.0 (4m) 、 4.1 (1e) 、 4.1 (2a) *、 4.1 (2c) *、 4.1 (3e) 、 4.1 (3f) 、 4.1 (3h) 、 4.1 (3i) 、 4.2 (1f) 、 4.2 (1i) 、 4.2 (1m) 、 4.2 (1n)
4.5(2a)	4.0 (4k) 、 4.0 (4m) 、 4.1 (1e) 、 4.1 (2a) *、 4.1 (2c) *、 4.1 (3e) 、 4.1 (3f) 、 4.1 (3h) 、 4.1 (3i) 、 4.2 (1f) 、 4.2 (1i) 、 4.2 (1m) 、 4.2 (1n)
4.5(1a)	4.0 (4l) 、 4.1 (1e) 、 4.1 (2c) *、 4.1 (3e) 、 4.1 (3f) 、 4.1 (3i)



重要 レガシー BIOS モードレガシー 바이오スを使用しているすべてのフラッシュは、サーバーファームウェアを 4.1 (3h) 、 4.1 (3i) 、 4.1 (3j) 、 4.2 (1m) または 4.2 (1n) にアップグレードしません。詳細については、[CSCwd04797](#)を参照します。

BIOS バージョンを確認するには、[ファームウェアバージョンの確認](#)を参照します。



- (注) HX 4.5(2a) は、サーバーファームウェアバージョン 4.2(1f) および 4.2(1i) で認定されています。クラシック インストーラ バージョン 4.5(2a) でクラスタを展開し、サーバーファームウェアバージョン 4.2(1f) または 4.2(1i) を使用する場合は、[HyperFlex HX データ プラットフォーム リリース 4.5\(2a\) ソフトウェア ダウンロード ページ](#) から最新の HX 互換性カタログ ファイル - storfs-catalog-4.5.2-39637.tgz をダウンロードし、最新のカatalogでインストーラを更新してください。Catalogをアップグレードする手順については、[HX 互換性Catalogのアップグレード](#)を参照してください。Catalogを更新せずに、上記のHXDPとサーバーファームウェアの組み合わせでクラスタを展開しようとすると、クラスタ展開の検証が失敗します。



- (注) M5 ノードを備えた HyperFlex クラスタの場合、サーバーファームウェアバージョンが推奨またはサポートされていることを確認してください。UCS サーバーファームウェアバージョン 4.1(3b) または 4.1(3c) で M5 ノードを実行している場合は、バージョン 4.1(3d) 以降にアップグレードしてください。詳細については、[CSCvx93920](#) を参照してください。この欠陥は、クラスタ内の M4 ノードには影響しません。

* UCS サーバーファームウェア 4.1(2a) および 4.1(2c) は、自己暗号化ドライブ (SED) を備えたクラスタではサポートされません。詳細については、[CSCvv69704](#) を参照してください。



- (注) SED ドライブを搭載した HX 4.5 (1a) は、UCS サーバーファームウェアリリース 4.1 (1e) でサポートされます。



重要 ご使用の環境（または配置）が、SFP-H25G-CU3M または SFP-H25G-CU5M ケーブルを使用して VIC 1455/1457 に接続されているファブリックインターコネクタ 6400 である場合は、UCS リリース 4.0 (4k) または 4.1 (2a) 以降のみを使用してください。認定リリースの表に記載されている他の UCS バージョンは使用しないでください。UCS リリース 4.0 (4k)、または 4.1 (2a) 以降でない UCS リリースを使用すると、クラスタが停止する可能性があります。

環境に影響する可能性のある UCS の問題については、『[UCS Manager、ファームウェア/ドライバ、およびブレード BIOS のリリース ノート](#)』を参照してください。

SFP-H25G-CU3M または SFP-H25G-CU5M ケーブルを使用して VIC 1455/1457 に接続されているファブリック インターコネクタ 6400 に対してのみ、次のアップグレードシーケンスを使用します。

- HX Connect から UCS サーバーファームウェアをアップグレードします。
- Cisco UCS インフラストラクチャをアップグレードします。
- HXDP をアップグレードします。
- ESXi をアップグレードします。

上記のハードウェアとソフトウェアの組み合わせの場合、UCS サーバーファームウェアの複合アップグレードはサポートされません。ただし、HXDP と ESXi の複合アップグレードは、UCS サーバーファームウェアと UCS インフラストラクチャ ファームウェアのアップグレードが完了した後にサポートされます。

現在の UCS F/W バージョンが 4.0(4k) または 4.1(2a) 以降の場合、UCS サーバーファームウェア、HX、ESXi の組み合わせアップグレードがサポートされます。

HX コンポーネント（Cisco HX Data Platform インストーラ、Cisco HX Data Platform、および Cisco UCS ファームウェア）は、別個のサーバーにインストールされます。HX ストレージ クラスタ内で使用される各サーバーの各コンポーネントに互換性があることを確認します。

- 事前設定された HX サーバーと、インストールされている Cisco UCS サーバーファームウェアのバージョンが同じであることを確認します。Cisco UCS ファブリック インターコネクタ (FI) のファームウェア バージョンが異なる場合、ファームウェア バージョンを配置する手順については『[Cisco HyperFlex System アップグレードガイド](#)』を参照してください。
- **M5:** 新しいハイブリッドまたはオールフラッシュ（Cisco HyperFlex HX240c M5 または HX220c M5）を展開する場合は、推奨される UCS ファームウェア バージョンがインストールされていることを確認してください。
- HX サーバーを再インストールするには、サポートされている互換性のあるソフトウェアのバージョンをダウンロードします。要件とステップについては『[Cisco HyperFlex Systems Installation Guide for VMware ESXi、リリース 4.5](#)』を参照してください。



重要 4.0(1a) CIMC 以前のバージョンを実行している Intersight エッジ サーバーについては、HUU にはファームウェアを更新するためのメカニズムが提案されます。

4.5 (x) 展開向け HyperFlex Edge/DC-No-FI およびファームウェア互換性マトリックス

Cisco HX Data Platform リリース 4.5.x に基づく導入

サーバーのコンポーネントファームウェアが、次の表に示されている最小バージョン以上であることを確認します。



重要 HyperFlex Edge は、Cisco IMC バージョン 4.0 (4a)、4.0 (4b)、4.0 (4c)、4.0 (4d)、および 4.0 (4e) をサポートしていません。



(注) DC-No-FI は、4.0 (x) では適用/サポートされていません。

表 29: HX220c M4 / HXAF220c M4 クラスタ

コンポーネント	対象のファームウェア バージョン - HXDP 4.5x *(上記の重要な注意事項を必ず確認してください)
ホスト アップグレードユーティリティ (HUU) バージョン	4.0(2h) ソフトウェアのダウンロード 次に、UCSサーバーファームウェアリンクをクリックして、目的の HUU バージョンをダウンロードします。
(注)	M4 は DC-No-FI ではサポートされていません。

表 30: HX220c M5 / HXAF220c M5 / HyperFlex HX220c M5 すべて NVMe / HX240c M5 / HXAF240c M5Cluster

コンポーネント	対象のファームウェアバージョン - HXDP 4.5.x *(上記の重要な注意事項を必ず確認してください)
ホストアップグレードユーティリティ (HUU) バージョン	4.1 (2f) 、4.1 (3c) 、4.1 (3f) 、4.1 (3h) 、4.1 (3i) 220 用のソフトウェアのダウンロード 240 用のソフトウェアのダウンロード 次に、UCS サーバーファームウェアリンクをクリックして、目的の HUU バージョンをダウンロードします。

ストレッチクラスタ用 HyperFlex 補助ノードの HX データ プラットフォーム ソフトウェア バージョン - 4.5 (x) リリース

表 31: ストレッチクラスタ用 HyperFlex 補助ノードの HX データ プラットフォーム ソフトウェア バージョン

HyperFlex リリース	補助ノードのバージョン
4.5(2e)	1.1.3
4.5(2d)	1.1.3
4.5(2c)	1.1.3
4.5(2b)	1.1.3
4.5(2a)	1.1.2、1.1.3 ²¹
4.5 (1a)	1.1.1

²¹ 1.1.3 は、HX 4.5(2a) に推奨される Witness Node バージョンです。

VMware ESXi のソフトウェア要件 - 4.5(x) リリース

ソフトウェアの要件には、互換性のある Cisco HyperFlex System (HX) コンポーネントおよび VMware vSphere、VMware vCenter、VMware ESXi のバージョンを使用していることの確認が含まれます。

- すべての HX サーバーに、互換性のある vSphere のバージョンがプレインストールされていることを確認します。
- vCenter のバージョンが ESXi のバージョンと同じかそれ以降であることを確認します。
- [VMware Product Interoperability Matrix](#) を参照して、vCenter と ESXi のバージョンに互換性があることを確認してください。次の表で ESXi と vCenter の両方がサポートされている限り、新しいバージョンの vCenter を古いバージョンの ESXi とともに使用することができます。
- ルート レベルの権限および関連パスワードが付与された vCenter 管理者アカウントがあることを確認します。

次の表は、Enterprise、Enterprise Plus、Standard、Essentials Plus、ROBO の VMware vSphere エディションすべてに適用されます。



- (注) 上記以外の VMware vSphere のライセンス エディション (Essentials Edition を含む) はサポートされていません。

表 32: VMware ESXi のソフトウェア要件

バージョン	VMware ESXi のバージョン	VMware vCenter バージョン
4.5(2e)	6.5 U3、6.7 U3、7.0 U2 ²² 、7.0 U3	6.5 U3、6.7 U3、 ²³ 7.0 U2、7.0 U3
4.5(2d)	6.5 U3、6.7 U3、7.0 U2 ²⁴ 、7.0 U3	6.5 U3、6.7 U3、 ²⁵ 7.0 U2、7.0 U3
4.5(2c)	6.5 U3、6.7 U3、7.0 U2 ²⁶ 、7.0 U3	6.5 U3、6.7 U3、 ²⁷ 7.0 U2、7.0 U3
4.5(2b)	6.5 U3、6.7 U3、7.0 U2 ²⁸	6.5 U3、6.7 U3、 ²⁹ 7.0 U2、7.0 U3 ³⁰
4.5(2a)	6.5 U3、6.7 U3、7.0 U1c (ビルド 17325551) ~7.0 U1d (ビルド 17551050) : 制限事項を参照 : 4、7.0 U2 ESXi 7.0 U2 は、古い Intel CPU を実行している HyperFlex クラスタではサポートされていません。 ³¹	6.5 U3、6.7 U3、7.0 U1c (ビルド 17327517) ~7.0 U1d (ビルド 17491101) ³² 7.0 U2
4.5 (1a)	6.5 U3、6.7 U3、7.0 U1c (ビルド 17325551) ~7.0 U1d (ビルド 17551050) ESXi 7.0 U1 および U2 へのアップグレードは、SD カードから起動するサーバーでは推奨されません。 ³³³⁴	6.5 U3、6.7 U3、7.0 U1c (ビルド 17327517) ~7.0 U1d (ビルド 17491101) -制限事項を参照 : 3 7.0 U2 ³⁵

²² ESXi 7.0 U2 は、古い Intel CPU を実行している HyperFlex クラスタではサポートされていません。詳細については、[CSCvy84658](#) を参照してください。

- 23 表に記載されている最小の vCenter 7.0 バージョンを使用するよう注意してください。7.0 U1c より前の VMware vCenter 7.0 バージョンは、ソフトウェアの相互運用性の問題の影響を受けます。詳細については、関連する [Field Notice: FN - 70620](#) を参照してください。vCenter 7.0 U1 以降を 4.5 HXDP クラスタで使用する場合、vCenter Server 7.0 U1 以降は vCLS クラスタ VM を使用します。
- アップグレード操作をスムーズに行うには、これらの VM を複製されていない共有 HX データストアに配置する必要があります。vCLS VM がローカルストレージにある場合は、アップグレードを試みる前に、それらを共有され、複製されていない HX データストアに vMotion で保存します。詳細については、[VMware のマニュアル](#) を参照してください。
- 24 ESXi 7.0 U2 は、古い Intel CPU を実行している HyperFlex クラスタではサポートされていません。詳細については、[CSCvy84658](#) を参照してください。
- 25 表に記載されている最小の vCenter 7.0 バージョンを使用するよう注意してください。7.0 U1c より前の VMware vCenter 7.0 バージョンは、ソフトウェアの相互運用性の問題の影響を受けます。詳細については、関連する [Field Notice: FN - 70620](#) を参照してください。vCenter 7.0 U1 以降を 4.5 HXDP クラスタで使用する場合、vCenter Server 7.0 U1 以降は vCLS クラスタ VM を使用します。
- アップグレード操作をスムーズに行うには、これらの VM を複製されていない共有 HX データストアに配置する必要があります。vCLS VM がローカルストレージにある場合は、アップグレードを試みる前に、それらを共有され、複製されていない HX データストアに vMotion で保存します。詳細については、[VMware のマニュアル](#) を参照してください。
- 26 ESXi 7.0 U2 は、古い Intel CPU を実行している HyperFlex クラスタではサポートされていません。詳細については、[CSCvy84658](#) を参照してください。
- 27 表に記載されている最小の vCenter 7.0 バージョンを使用するよう注意してください。7.0 U1c より前の VMware vCenter 7.0 バージョンは、ソフトウェアの相互運用性の問題の影響を受けます。詳細については、関連する [Field Notice: FN - 70620](#) を参照してください。vCenter 7.0 U1 以降を 4.5 HXDP クラスタで使用する場合、vCenter Server 7.0 U1 以降は vCLS クラスタ VM を使用します。
- アップグレード操作をスムーズに行うには、これらの VM を複製されていない共有 HX データストアに配置する必要があります。vCLS VM がローカルストレージにある場合は、アップグレードを試みる前に、それらを共有され、複製されていない HX データストアに vMotion で保存します。詳細については、[VMware のマニュアル](#) を参照してください。
- 28 ESXi 7.0 U2 は、古い Intel CPU を実行している HyperFlex クラスタではサポートされていません。詳細については、[CSCvy84658](#) を参照してください。
- 29 表に記載されている最小の vCenter 7.0 バージョンを使用するよう注意してください。7.0 U1c より前の VMware vCenter 7.0 バージョンは、ソフトウェアの相互運用性の問題の影響を受けます。詳細については、関連する [Field Notice: FN - 70620](#) を参照してください。vCenter 7.0 U1 以降を 4.5 HXDP クラスタで使用する場合、vCenter Server 7.0 U1 以降は vCLS クラスタ VM を使用します。

- アップグレード操作をスムーズに行うには、これらの VM を複製されていない共有 HX データストアに配置する必要があります。vCLS VM がローカルストレージにある場合は、アップグレードを試みる前に、それらを共有され、複製されていない HX データストアに vMotion で保存します。詳細については、[VMware のマニュアル](#)を参照してください。

³⁰ HXDP バージョン 4.5(2b) のみで vCenter 7.0 U3 がサポートされています。ESXi 7.0 U3 は、HXDP バージョン 4.5(2b) ではサポートされていません。ESXi 7.0 U3 のサポートの詳細については、上の表を参照してください。

³¹ 詳細については、[CSCvy84658](#) を参照してください。

³² 表に記載されている最小の vCenter 7.0 バージョンを使用するように注意してください。7.0 U1c より前の VMware vCenter 7.0 バージョンは、ソフトウェアの相互運用性の問題の影響を受けます。詳細については、関連する [Field Notice: FN - 70620](#) を参照してください。vCenter 7.0 U1 以降を 4.5 HXDP クラスタで使用する場合、vCenter Server 7.0 U1 以降は vCLS クラスタ VM を使用します。

- アップグレード操作をスムーズに行うには、これらの VM を複製されていない共有 HX データストアに配置する必要があります。vCLS VM がローカルストレージにある場合は、アップグレードを試みる前に、それらを共有され、複製されていない HX データストアに vMotion で保存します。詳細については、[VMware のマニュアル](#)を参照してください。

³³ 詳細については、[VMware KB 83376](#) を参照してください。

³⁴ ESXi 7.0 での HyperFlex Edge の新規インストールは、OVA インストーラを使用した場合はサポートされません。Intersight インストーラを使用するか、ESXi 6.5 / 6.7 で展開し、インストール後に 7.0 にアップグレードします。

³⁵ 4.5 (1a) HXDP クラスタで vCenter 7.0 U2 を使用する場合、次の制限が適用されます。

(注) これらの制限は 4.5 (2a) 以降には適用されません。

- 新規インストールは vCenter 7.0 U2 では実行できません。最初に vCenter なしでクラスタを展開し、その後 vCenter Server に登録できます。クラスタは、実稼働に入る前に vCenter サーバーに登録する必要があります。
- クラスタ拡張（コンバインドおよびコンピューティングのみ）は、vCenter 7.0 U2 では実行できません。クラスタを拡張する前に、クラスタを vCenter Server 6.x に再登録します。



(注) vSphere 6.x ユーザーの場合。VMware は、2022 年 10 月 15 日に vSphere 6.5 および 6.7 の一般サポートを終了することを発表しました。Cisco では、サポートされている VMware vSphere 7.x リリースにできるだけ早くアップグレードし、[\[General Recommendation for New and Existing Deployments \(新規および既存の展開向けの一般的な推奨事項\)\]](#) で説明されている Cisco の推奨事項に従うことを強く推奨します。

Microsoft Hyper-V のソフトウェア要件 - 4.5(x) リリース

ソフトウェア要件には、互換性のある Cisco HyperFlex System (HX) コンポーネントおよび Microsoft Hyper-V (Hyper-V) コンポーネントのバージョンを使用していることを確認するための検証が含まれています。

HyperFlex ソフトウェアのバージョン

HX コンポーネント (Cisco HX Data Platform インストーラ、Cisco HX Data Platform、および Cisco UCS ファームウェア) は、別個のサーバーにインストールされます。HX ストレージクラスタ内で使用される各サーバーの各コンポーネントに互換性があることを確認します。インストール要件および手順に関する詳細は、『*Microsoft Hyper-V の Cisco HyperFlex システム インストールガイド*』を参照してください。

表 33: Hyper-V 上の M5 サーバー用の認定サーバーファームウェア

HyperFlex リリース	M5 認定サーバーファームウェア
4.5(2e)	4.1(3f)
4.5(2d)	4.1(3f)
4.5(2c)	4.1(3f)
4.5(2b)	4.1(3f)
4.5(2a)	4.1(3f)
4.5 (1a)	4.1(3f)

表 34: サポートされる **Microsoft** ソフトウェア バージョン

Microsoft コンポーネント	バージョン
Windows オペレーティング システム (Windows OS)	<p>Windows Server 2016 Datacenter Datacenter Core および Desktop Experience。</p> <p>(注) Windows Server 2016 Datacenter Core & Desktop Experience では、Windows 2016 ISO イメージは少なくとも Update Build Revision (UBR) 1884 である必要があります。</p> <p>Windows Server 2019 Datacenter-デスクトップエクスペリエンスは、HXDP 4.0.1 (a) 以降からサポートされています。</p> <p>(注) Windows Server 2019 Desktop Experience では、Windows 2019 ISO イメージは少なくとも Update Build Revision (UBR) 107 である必要があります。</p> <p>Windows Server 2019 Datacenter-Core は現在サポートされていません。</p> <p>また、以下は現在サポートされていないことに注意してください。</p> <p>ISO および Retail ISO をアクティベートした OEM は現在サポートされていません。</p> <p>Windows 2012r2 などの Windows Server の以前のバージョンはサポートされていません。</p> <p>ISO の英語以外のバージョンはサポートされていません。</p>
Active Directory	Windows 2012 以降のドメインおよびフォレスト機能レベル

サポートされている **Microsoft** ライセンス エディション

1 個以上の HyperFlex ホストにインストールされている Microsoft Windows Server のバージョンは、『[Microsoft ライセンス取得](#)』に記載されている Microsoft ライセンス要件に従ってライセンスが取得されている必要があります。

ブラウザの推奨事項 - 4.5(x) リリース

一覧表示された HyperFlex コンポーネントを実行するには、次のブラウザのいずれかを使用してください。これらのブラウザはすでにテストされ、承認済みです。他のブラウザも動作する可能性があります、すべての機能がテストされ、確認されているわけではありません。

表 35: サポートされるブラウザ

ブラウザ	Cisco Intersight	Cisco UCS Manager	HX Data Platform インストーラ	HX Connect
Microsoft Internet Explorer	NA	11 以降	11 以降	11 以降
Google Chrome	62 以降	57 以降	70 以降	70 以降
Mozilla Firefox	57 以降	45 以降	60 以降	60 以降
Apple Safari	10 以降	9 以降	該当なし	該当なし
Opera	該当なし	35 以降	該当なし	該当なし

注

- **Cisco HyperFlex Connect:**

推奨される最小解像度は 1024 x 768 です。

- **Cisco HX Data Platform プラグイン:**

Cisco HX Data Platform プラグイン は vSphere 内で動作します。VMware ホストのクライアントシステムブラウザの要件については、[VMwareのマニュアル](#)を参照してください。

Cisco HX Data Platform プラグイン は vCenter HTML クライアントには表示されません。vCenter フラッシュ クライアントを使用する必要があります。

- **Cisco UCS Manager:**

ブラウザは以下をサポートしている必要があります。

- Java ランタイム環境 1.6 以降
- 一部の機能には、Adobe Flash Player 10 以降が必要です。

Cisco UCS Manager に関するブラウザの最新情報については、最新の『[Cisco UCS Manager スタートアップ ガイド](#)』を参照してください。



第 8 章

Cisco HXの廃止されたリリース-ソフトウェア要件

- [推奨される FI/サーバーファームウェア - 旧版のリリース \(65 ページ\)](#)
- [ストレッチ クラスタ用 HyperFlex 補助ノードの HX データプラットフォーム ソフトウェア バージョン - 旧版のリリース \(70 ページ\)](#)
- [VMware ESXi のソフトウェア要件 - 古いリリース \(71 ページ\)](#)

推奨される FI/サーバーファームウェア - 旧版のリリース

HX コンポーネント (Cisco HX Data Platform インストーラ、Cisco HX Data Platform、および Cisco UCS ファームウェア) は、別個のサーバーにインストールされます。HX ストレージ クラスタ内で使用される各サーバーの各コンポーネントに互換性があることを確認します。

- HyperFlex は、UCS Manager および UCS Server Firmware バージョン 4.0(4a)、4.0(4b)、4.0(4c) をサポートしていません。



重要 これらのファームウェア バージョンにアップグレードしないでください。

これらの UCS Manager のバージョンにアップグレードしないでください。

- 事前設定された HX サーバーと、インストールされている Cisco UCS サーバーファームウェアのバージョンが同じであることを確認します。Cisco UCS ファブリック インターコネクタ (FI) のファームウェア バージョンが異なる場合、ファームウェア バージョンを配置する手順については『Cisco HyperFlex System アップグレード ガイド』を参照してください。
- **M4** : 新しいハイブリッドまたはオールフラッシュ (Cisco HyperFlex HX240c M4 または HX220c M4) を展開する場合は、Cisco UCS Manager 3.1(3k)、3.2(3i)、または 4.0(2b) 以降がインストールされていることを確認してください。詳細については、『[推奨される HX データプラットフォーム ソフトウェア リリース](#)』を参照してください。

- **M5**: 新しいハイブリッドまたはオールフラッシュ (Cisco HyperFlex HX240c M5 または HX220c M5) を展開する場合は、推奨される UCS ファームウェアバージョンがインストールされていることを確認してください。



- (注) SED ベース HyperFlex システムについては、A (インフラストラクチャ)、B (ブレードサーバー) および C (ラックサーバー) バンドルが、すべての SED M4/M5 システムに対して Cisco UCS Manager バージョン 4.0(2b) 以降です。詳細については、[CSCvh04307](#) を参照してください。

SED ベース HyperFlex システムでは、すべてのクラスタが HyperFlex リリース 3.5(2b) 以降であることも確認します。詳細については、[Field Notice \(70234\)](#) および [CSCvk17250](#) を参照してください。

- HXサーバーを再インストールするには、サポートされている互換性のあるソフトウェアのバージョンをダウンロードします。要件と手順については、『[Cisco HyperFlex Systems Installation Guide for VMware ESXi](#)』を参照してください。
- UCS サーバーファームウェア 4.1(2a) および 4.1(2c) は、自己暗号化ドライブ (SED) を備えたクラスタではサポートされません。[CSCvv69704](#) を参照してください。



- 重要** 4.0(1a) CIMC 以前のバージョンを実行している Intersight エッジサーバーについては、HUU にはファームウェアを更新するためのメカニズムが提案されます。

推奨される FI/サーバーファームウェアに関連する [リリースノート](#) を確認してください。

表 36: M4/M5 サーバーの HyperFlex ソフトウェアバージョン

リリース	M4 推奨 FI/サーバーファームウェア *(上記の重要な注意事項を必ず確認してください)	M5 推奨 FI/サーバーファームウェア *(上記の重要な注意事項を必ず確認してください)	M4/M5 認定 FI/サーバーファームウェア *(上記の重要な注意事項を必ず確認してください)
5.0(1x)	認定リストを参照	認定リストを参照	4.0(4k)、4.0(4m) 4.1(1e)、4.1(2a)、4.1(2c)、4.1(3b)、4.1(3e)、4.1(3f)、4.1(3h)、4.1(3i)、4.1(3j) 4.2(1f)、4.2(1i)、4.2(1m)、4.2(1n)
4.0(2f)	認定リストを参照	認定リストを参照	4.0 (4i) 、 4.0 (4k) 、 4.0 (4l) 、 4.0 (4m) 、 4.1 (1d) 、 4.1 (1e) 、 4.1 (2a) *、 4.1 (2c) *、 4.1 (3d) 、 4.1 (3e) 、 4.1 (3f) 、 4.1 (3h)
4.0(2e)	認定リストを参照	認定リストを参照	4.0 (4i) 、 4.0 (4k) 、 4.0 (4l) 、 4.0 (4m) 、 4.1 (1d) 、 4.1 (1e) 、 4.1 (2a) *、 4.1 (2c) *、 4.1 (3d) 、 4.1 (3e) 、 4.1 (3h)

リリース	M4 推奨 FI/サーバーファームウェア *(上記の重要な注意事項を必ず確認してください)	M5 推奨 FI/サーバーファームウェア *(上記の重要な注意事項を必ず確認してください)	M4/M5 認定 FI/サーバーファームウェア *(上記の重要な注意事項を必ず確認してください)
4.0(2d)	認定リストを参照	認定リストを参照	4.0 (4i) 、 4.0 (4k) 、 4.0 (4l) 、 4.0 (4m) 、 4.1 (1d) 、 4.1 (1e) 、 4.1 (2a) *、 4.1 (2c) *、 4.1 (3d) 、 4.1 (3e) 、 4.1 (3h)
4.0(2c)	認定リストを参照	認定リストを参照	4.0 (4i) 、 4.0 (4k) 、 4.0 (4l) 、 4.0 (4m) 、 4.1 (1d) 、 4.1 (1e) 、 4.1 (2a) *、 4.1 (2c) *、 4.1 (3h)
4.0(2b)	認定リストを参照	認定リストを参照	4.0 (4i) 、 4.0 (4k) 、 4.0 (4l) 、 4.0 (4m) 、 4.1 (1d) 、 4.1 (1e) 、 4.1 (2a) *、 4.1 (2c) *、 4.1 (3h)
4.0(2a)	認定リストを参照	認定リストを参照	4.0 (4i) 、 4.0 (4k) 、 4.0 (4l) 、 4.0 (4m) 、 4.1 (1d) 、 4.1 (1e) 、 4.1 (2c) *、 4.1 (3h)
4.0 (1b) -サポート対象外	認定リストを参照	認定リストを参照	4.0 (4i)

リリース	M4 推奨 FI/サーバーファームウェア *(上記の重要な注意事項を必ず確認してください)	M5 推奨 FI/サーバーファームウェア *(上記の重要な注意事項を必ず確認してください)	M4/M5 認定 FI/サーバーファームウェア *(上記の重要な注意事項を必ず確認してください)
4.0 (1a) -サポート対象外	-	-	-
3.5 (2i)	4.0(4k)	4.0(4k)	4.0(4k)、4.0(4l)、4.1(1d)、4.1(1e)、4.1(2a)*、4.1(2b)*、4.1(2c)、4.1(3b)、4.1(3c)
3.5 (2h)	4.0(4k)	4.0(4k)	4.0(4k)、4.0(4l)、4.1(1d)、4.1(1e)、4.1(2a)*、4.1(2b)*、4.1(2c)、4.1(3b)
3.5 (2g)	4.0(4k)	4.0(4k)	4.0(4h)、4.1(1d)、4.1(1e)、4.1(3b)
3.5(2f)	4.0 (4e)	4.0 (4e)	4.0(4d) ³⁶ 、4.0(4e) ³⁷ 、4.1(3b)
3.5(2e)	4.0 (4e)	4.0 (4e)	4.0(4g)、4.1(3b)
3.5 (2d)	4.0 (4e)	4.0 (4e)	4.1(3b)
3.5(2c)	リリースの延期		
3.5(2b)	4.0 (2d)、3.2 (3i)、3.1 (3k)	4.0(2d)	4.1(3b)
3.5(2a)	4.0(1c)、3.2(3i)、3.1(3k)	4.0(1c)	4.1(3b)
3.5(1a) - サポートされていない	4.0(1b)、3.2(3h)、3.1(3j)	4.0(1a)	
2.6(1c)	3.2(3d)、3.1(3f)	3.2(3d)	
2.6(1d)	3.2(3d)、3.1(3c)	3.2(3d)	
2.6(1b)	3.2(2d)、3.1(3c)	3.2(2d)	
2.6(1a)	3.2(2d)、3.1(3c)	3.2(2d)	

³⁶ 4.0(4d) は M5 専用です。

³⁷ 4.0(4e) は M5 専用です。

ストレッチクラスタ用 HyperFlex 補助ノードの HX データ プラットフォーム ソフトウェア バージョン - 旧版の リリース

表 37: ストレッチクラスタ用 HyperFlex 補助ノードの HX データ プラットフォーム ソフトウェア バージョン

HyperFlex リリース	補助ノードのバージョン
5.0(1x)	1.1.3
4.0(2f)	1.1.1
4.0(2e)	1.1.1
4.0(2d)	1.0.10
4.0(2c)	1.0.9
4.0(2b)	1.0.8
4.0(2a)	1.0.8
4.0 (1b) -サポート対象外	1.0.4
4.0 (1a) -サポート対象外	1.0.4
3.5 (2i)	1.0.9
3.5 (2h)	1.0.8
3.5 (2g)	1.0.6 以降
3.5(2f)	1.0.6 以降
3.5(2e)	1.0.4
3.5 (2d)	1.0.3
3.5(2c)	リリースの延期
3.5(2b)	1.0.3
3.5(2a)	1.0.3
3.5(1a) - サポートされていない	1.0.2
3.0(1x)	1.0.1



(注) 旧バージョンの VM は、最新の HXDP バージョンにクラスタがアップグレードされるとサポートされます。

VMware ESXi のソフトウェア要件 - 古いリリース

ソフトウェアの要件には、互換性のある Cisco HyperFlex System (HX) コンポーネントおよび VMware vSphere、VMware vCenter、VMware ESXi のバージョンを使用していることの確認が含まれます。

- すべての HX サーバーに、互換性のある vSphere のバージョンがプレインストールされていることを確認します。
- vCenter のバージョンが ESXi のバージョンと同じかそれ以降であることを確認します。
- [VMware Product Interoperability Matrix](#) を参照して、vCenter と ESXi のバージョンに互換性があることを確認してください。次の表で ESXi と vCenter の両方がサポートされている限り、新しいバージョンの vCenter を古いバージョンの ESXi とともに使用することができます。
- ルートレベルの権限および関連パスワードが付与された vCenter 管理者アカウントがあることを確認します。



(注) VIC1457 では、ESXi 6.0 をサポートしていません。

次の表は、Enterprise、Enterprise Plus、Standard、Essentials Plus、ROBO の VMware vSphere エディションすべてに適用されます。

表 38: VMware ESXi のソフトウェア要件

バージョン	VMware ESXi のバージョン	VMware vCenter バージョン
5.0(1x)	6.5 U3, 6.7 U3, 7.0 U2	6.5 U3, 6.7 U3, 7.0 U2, 7.0 U3
4.0(2f)	6.5 U3, 6.7 U3	6.5 U3, 6.7 U3, 7.0 U2 制限事項を参照してください。 38
4.0(2e)	6.5 U3, 6.7 U3	6.5 U3, 6.7 U3、 7.0 U1c (ビルド 17327517) ~7.0 U1d (ビルド 17491101)、および 7.0 U2 - 4.0 (2f) 制限事項の脚注を参照

バージョン	VMware ESXi のバージョン	VMware vCenter バージョン
4.0(2d)	6.5 U3、 6.7 U3 ビルド 17098360 まで 「制限事項」を参照してください。 ESXi6.7 U3 P04 (ビルド 17167734) 以降は、HXDP 4.0 (2a) ~4.0 (2d) ではサポートされません。 ³⁹	6.5 U3、6.7 U3、 7.0 U1c (ビルド 17327517) ~7.0 U1d (ビルド 17491101)、および 7.0 U2 - 4.0 (2f) 制限事項の脚注を参照
4.0(2c)	6.5 U3、 6.7 U3 ビルド 17098360 まで 4.0 (2f) 制限の脚注を参照	6.5 U3、6.7 U3、 7.0 U1c (ビルド 17327517) ~7.0 U1d (ビルド 17491101)、および 7.0 U2 - 4.0 (2f) 制限事項
4.0(2b)	6.5 U3、および 6.7 U3 (ビルド 17098360 まで) 4.0 (2f) 制限の脚注を参照	6.5 U3、6.7 U3
4.0(2a)	6.5 U3、および 6.7 U3 (ビルド 17098360 まで) 4.0 (2f) 制限の脚注を参照	6.5 U3、6.7 U3
4.0 (1b) -サポート 対象外	6.5 U3、6.7 U2 ⁴⁰	6.5 U3、6.7 U2
4.0 (1a) -サポート 対象外	6.5 U2、6.7 U2	6.5 U2、6.7 U2
3.5 (2i)	6.0 U3、6.5 U3、および 6.7 U3 ~ビルド 17098360 : 制限事項 を参照 : ESXi 6.7 U3 P04 (ビルド 17167734) 以降は、HXDP 3.5 (2) では現在サポートされていません。 ⁴¹	6.0 U3、6.5 U3、6.7 U3
3.5(2h)	6.0 U3、6.5 U3、および 6.7 U3 (ビルド 17098360 まで) : 制 限事項を参照 : 4	6.0 U3、6.5 U3、6.7 U3
3.5(2g)	6.0 U3、6.5 U3、および 6.7 U3 (ビルド 17098360 まで) : 制 限事項を参照 : 4	6.0 U3、6.5 U3、6.7 U3
3.5(2f)	6.0 U3、6.5 U2、6.7 U2 ⁴²	6.0 U3、6.5 U2、6.7 U1
3.5(2e)	6.0 U3、6.5 U2、6.7 U2 ⁴³	6.0 U3、6.5 U2、6.7 U1

バージョン	VMware ESXi のバージョン	VMware vCenter バージョン
3.5(2d)	6.0 U3、6.5 U2、6.7 U2 ⁴⁴	6.0 U3、6.5 U2、6.7 U1
3.5(2c)	リリースの延期	
3.5(2b)	6.0 U3、6.5 U2、6.7 U1 ⁴⁵ 、6.7 U2 ⁴⁶⁴⁷	6.0 U3、6.5 U2、6.7 U1、6.7 U2
3.5(2a)	6.0 U3、6.5 U2、6.7 U1 ⁴⁸	6.0 U3、6.5 U2、6.7 U1
3.5(1a) - サポートされていない	6.0 U3、6.5 U1、6.5 U2	6.0 U3、6.5 U1、6.5 U2、6.7 U1 ⁴⁹
2.6(1e)	6.0 U1b、6.0 U2、6.0 U2 パッチ 3、6.0 U3、6.5 U1	6.0 U1/U2/U3、6.5 U1
2.6(1d)	6.0 U1b、6.0 U2、6.0 U2 パッチ 3、6.0 U3、6.5 U1	6.0 U1/U2/U3、6.5 U1
2.6(1b)	6.0 U1b、6.0 U2、6.0 U2 パッチ 3、6.0 U3、6.5 U1	6.0 U1/U2/U3、6.5 U1
2.6(1a)	6.0 U1b、6.0 U2、6.0 U2 パッチ 3、6.0 U3、6.5 U1	6.0 U1/U2/U3、6.5 U1

³⁸ HX リリース 4.0 (2f)、4.0 (2e)、4.0 (2d)、および 4.0 (2c) では、表に記載されている最小の vCenter 7.0 バージョンを使用するように注意してください。7.0 U1 以前の vCenter バージョンは、ソフトウェアの相互運用性の問題の影響を受けます (Field Notice : FN - 70620 を参照)。4.0 (2a) ~ 4.0 (2d) HXDP クラスタで vCenter 7.0 U1 または 7.0 U2 を使用する場合、次の制限が適用されます。これらの制限は、4.0 (2e) 以降では適用されません。

- 新規インストールは、vCenter 7.0 U1 または 7.0 U2 では実行できません。最初に vCenter なしでクラスタを展開し、その後 vCenter Server に登録できます。クラスタは、実稼働に入る前に vCenter サーバーに登録する必要があります。
- クラスタ拡張 (コンバージドおよびコンピューティングのみ) は、vCenter 7.0 U1 または 7.0 U2 では実行できません。クラスタを拡張する前に、クラスタを vCenter Server 6.x に再登録します。
- vCenter Server 7.0 U1 以降では、vCLS クラスタ VM を使用します。アップグレード操作を円滑に行うには、これらの VM を共有 HX データストアに配置する必要があります。vCLS VM がローカルストレージにある場合は、アップグレードを試みる前に、それらを共有 HX データストアに vMotion で保存します。詳細については、VMware のマニュアルを参照してください。

³⁹ 詳細については、SSH Incompatibility with ESXi 6.7P04 を参照してください。

- 40 サポートされていないリリース 4.0(1b) および 4.0(1a) での 6.7 U2 の使用は推奨されません。詳細については、[Software Advisory for Cisco HyperFlex Stretched Cluster Operations, Release 4.0\(1a\)](#) を参照してください。
- 41 詳細については、『[SSH Incompatibility with ESXi 6.7P04 Tech Note](#)』を参照してください。
- 42 6.7U2 の使用は推奨されていません。詳細については、[HX リリース 3.5\(2f\) のソフトウェア アドバイザリ](#) を参照してください。
- 43 6.7U2 の使用は推奨されていません。詳細については、[HX リリース 3.5\(2e\) のソフトウェア アドバイザリ](#) を参照してください。
- 44 6.7U2 の使用は推奨されていません。詳細については、[HX リリース 3.5\(2d\) のソフトウェア アドバイザリ](#) を参照してください。
- 45 6.7 U1 の使用は推奨されていません。詳細については、『[CSCvo56350 のソフトウェア アドバイザリ](#)』を参照してください。
- 46 3.5(2b) リリースの場合、クラスタ インストールは最初に 6.0 U3 または 6.5 U2 で実行する必要があります。クラスタを展開した後に、[Cisco.com](#) からダウンロード可能な Zip パッケージを使用して、6.7 U2 にアップグレードできます。ESXi の詳細なアップグレードの手順については、[アップグレードガイド](#) を参照してください。3.5(2b) にアップグレードされた既存のクラスタは、いつでも 6.7 U2 に ESXi をアップグレードできます。
- 47 6.7U2 の使用は推奨されていません。詳細については、[HX リリース 3.5\(2b\) のソフトウェア アドバイザリ](#) を参照してください。
- 48 6.7 U1 の使用は推奨されていません。詳細については、『[CSCvo56350 のソフトウェア アドバイザリ](#)』を参照してください。
- 49 3.5 (1a) リリースでは、vCenter 6.7U1 の使用は、記載されている ESXi 6.0 および 6.5 のバージョンでのみサポートされています。



(注) vSphere 6.0 ユーザの場合、VMware の vSphere 6.0 の一般サポートは、2020 年 3 月 12 日に終了日を迎えました。HXDP は引き続き、vSphere 6.0 U3 の 3.5(2) および 4.0(2) 長期リリースの両方をサポートします。ただし、サポート終了日を過ぎたため、VMware も Cisco も、今後 ESXi のバグまたはセキュリティフィックスを提供しません。Cisco TAC は引き続き、すでにリリースされている ESXi 6.0 ビルドを最大限活用できるよう、お客様をサポートします。Cisco では、サポートされている VMware vSphere 6.5 または 6.7 リリースにできるだけ早くアップグレードし、『[Cisco HyperFlex HX Data Platform Software Releases - for Cisco HyperFlex HX-Series Systems \(推奨される HX データ プラットフォーム ソフトウェアリリース-Cisco HyperFlex HX シリーズ システム\)](#)』で説明されている Cisco の推奨事項に従うことを強く推奨します。



第 9 章

マニュアルの変更履歴

- [マニュアルの変更履歴 \(75 ページ\)](#)

マニュアルの変更履歴

次の表は、最新のリリースを除き、このガイドに行われた大幅な変更点の概要を示したものです。この表は、このマニュアルに加えられた変更やこのリリースの新しい機能をすべて網羅するものではありません。最新のリリースの詳細については、[このガイドの新機能 \(1 ページ\)](#)を参照してください。

表 39: Cisco HyperFlex ソフトウェア推奨事項およびガイドラインの新機能および機能変更

特長	説明	リリースまたは日付が追加された	参照先
5.0(2g)	HX 5.0(x) の認定 FI/サーバーファームウェアのリストから UCS 4.2(3j) を追加しました	2024 年 3 月 20 日	FI/サーバーファームウェア - 5.0(x) リリース (39 ページ)
5.0(2g)	推奨リリースのすべての新規と既存のクラスタを HX 5.0(2g) にアップデートしました。	2024 年 3 月 5 日	FI/サーバーファームウェア - 5.0(x) リリース (39 ページ)
5.0(2e)	推奨リリースのすべての新規と既存のクラスタを HX 5.0(2e) にアップデートしました。	2023 年 9 月 27 日	FI/サーバーファームウェア - 5.0(x) リリース (39 ページ)
5.5(1a)	推奨リリースのすべての新規と既存のクラスタを HX 5.5(1a) にアップデートしました。	2023 年 8 月 22 日	FI/サーバーファームウェア - 5.5(x) リリース (25 ページ)

特長	説明	リリースまたは日付が追加された	参照先
5.0(2d)	推奨リリースの全ての新規と既存のクラスタを HX 5.0(2d) にアップデートしました。 HX 5.0(x) の認定 FI/サーバーファームウェアのリストから UCS 4.2(3g) を追加しました	2023 年 7 月 28 日	FI/サーバーファームウェア - 5.0(x) リリース (39 ページ)
5.0(2c)	推奨リリースのすべての新規と既存のクラスタを HX 5.0(2c) にアップデートしました。	2023 年 4 月 4 日	FI/サーバーファームウェア - 5.0(x) リリース (39 ページ)
5.0(x)	HX 5.0(x) の認定 FI/サーバーファームウェアのリストから UCS 4.2(3b) を追加しました	2023 年 3 月 10 日	FI/サーバーファームウェア - 5.0(x) リリース (39 ページ)
EOL 4.0(x)	HXDP 4.0 要件をこのドキュメントのサポート終了セクションに移動するように更新しました。	2023 年 2 月 28 日	Cisco HX の廃止されたリリース-ソフトウェア要件 (65 ページ)
5.0 (2b) 、 4.0 (2x)	推奨リリースの全ての新規と既存のクラスタを HX 5.0 (2b) にアップデートしました。 4.0 (2x) のリリース サポートタイムラインの日付をアップデートしました。	2023 年 1 月 31 日	<ul style="list-style-type: none"> • FI/サーバーファームウェア - 5.0(x) リリース (39 ページ) • 5.0 (x) 展開向け HyperFlex Edge/DC-No-FI およびファームウェア互換性マトリックス (42 ページ) • リリース サポート タイムライン: リリース - 4.0(2x)

特長	説明	リリースまたは日付が追加された	参照先
5.0 (x) 、 4.5 (x)	HX 5.0 (x) と HX 4.5 (x) の FI/サーバーファームウェアテーブルにノートを追加しました。	2022 年 11 月 23 日	<ul style="list-style-type: none"> • FI/サーバーファームウェア - 5.0(x) リリース (39 ページ) • FI/サーバーファームウェア - 4.5(x) リリース (54 ページ)
5.0 (2x) 、 5.0 (1x)	<p>推奨リリースの全ての新規と既存のクラスターを HX 5.0 (2a) にアップデートしました。</p> <p>5.0 (2x) と 5.0 (1x) のリリース サポート タイムラインの日付をアップデートしました。</p>	2022 年 10 月 4 日	<ul style="list-style-type: none"> • HXDP とハイパーバイザのバージョンの選択 - ESXi (7 ページ) • HXDP とハイパーバイザのバージョンの選択 - Hyper-V (9 ページ) • HXDP リリースのリリース サポート タイムライン: 5.0(x) (13 ページ)
5.0(x)	HX 5.0 (x) の認定 FI/サーバーファームウェアのリストから UCS 4.1 (3j) を削除しました。	2022 年 9 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"> • FI/サーバーファームウェア - 5.0(x) リリース (39 ページ)
4.5(2e)	推奨リリースの全ての新規と既存のクラスターを HX 4.5 (2e) にアップデートしました。	2022 年 9 月 21 日	<ul style="list-style-type: none"> • HXDP とハイパーバイザのバージョンの選択 - ESXi (7 ページ) • HXDP とハイパーバイザのバージョンの選択 - Hyper-V (9 ページ)
5.0 (x) 、 4.5 (x)	HyperFlex Edge/DC-No-FI の認定 FI/サーバーファームウェアおよび HX 5.0 (x) および 4.5 (2x) のファームウェア互換性マトリックスのリストに UCS 4.1 (3h) および 4.1 (3i) を追加しました。	2022 年 9 月 12 日	<ul style="list-style-type: none"> • 5.0 (x) 展開向け HyperFlex Edge/DC-No-FI およびファームウェア互換性マトリックス (42 ページ) • 4.5 (x) 展開向け HyperFlex Edge/DC-No-FI およびファームウェア互換性マトリックス (57 ページ)

特長	説明	リリースまたは日付が追加された	参照先
5.0 (x) 、 4.5 (x)	HyperFlex Edge/DC-No-FI の認定 FI/サーバーファームウェアおよび HX 5.0 (x) および 4.5 (2x) のファームウェア互換性マトリックスのリストに UCS 4.1 (3h) および 4.1 (3i) を追加しました。	2022 年 9 月 12 日	<ul style="list-style-type: none"> 5.0 (x) 展開向け HyperFlex Edge/DC-No-FI およびファームウェア互換性マトリックス (42 ページ) 4.5 (x) 展開向け HyperFlex Edge/DC-No-FI およびファームウェア互換性マトリックス (57 ページ)
4.5(2e)	HX 4.5 (2e) のソフトウェア要件を更新。	2022 年 9 月 6 日	<ul style="list-style-type: none"> FI/サーバーファームウェア - 4.5(x) リリース (54 ページ) VMware ESXi のソフトウェア要件 - 4.5(x) リリース (58 ページ)
5.0(2a)	HX 5.0(2a) のソフトウェア要件を更新しました。HX 5.0 (1c) へソフトウェア暗号化を有効にするクラスターと HX M6 クラスターのアップデートされた推奨リリース。	2022 年 8 月 23 日	<ul style="list-style-type: none"> FI/サーバーファームウェア - 5.0(x) リリース (39 ページ) VMware ESXi のソフトウェア要件 - 5.0(x) リリース (44 ページ) 5.0 (x) 展開向け HyperFlex Edge/DC-No-FI およびファームウェア互換性マトリックス (42 ページ) Cisco HX Data Platform の互換性と拡張性の詳細 - 5.0(x) リリース (31 ページ) HXDP とハイパーバイザのバージョンの選択 - ESXi (7 ページ)

特長	説明	リリースまたは日付が追加された	参照先
5.0 (x) 、 4.5 (x)	DC-No-FI Storage Cluster 仕様に Compute-Only 情報を追加。	2022 年 8 月 2 日	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco HX Data Platform の互換性と拡張性の詳細 - 5.0(x) リリース (31 ページ) • Cisco HX Data Platform の互換性と拡張性の詳細 - 4.5(x) リリース (49 ページ)
5.0 (1c)	推奨リリースの全ての新規と既存のクラスタを HX 5.0 (1c) にアップデートしました。	2022 年 7 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> • HXDP とハイパーバイザのバージョンの選択 - ESXi (7 ページ) • HXDP とハイパーバイザのバージョンの選択 - Hyper-V (9 ページ)
4.5(2d)	HX 4.5 (2d) のソフトウェア要件を更新。	7 月 19 日。2022	<ul style="list-style-type: none"> • FI/サーバーファームウェア - 4.5(x) リリース (54 ページ) • VMware ESXi のソフトウェア要件 - 4.5(x) リリース (58 ページ)
4.5(2c)	推奨リリースの全ての新規と既存のクラスタを HX 4.5 (2c) にアップデートしました。	2022 年 6 月 9 日	<ul style="list-style-type: none"> • HXDP とハイパーバイザのバージョンの選択 - ESXi (7 ページ) • HXDP とハイパーバイザのバージョンの選択 - Hyper-V (9 ページ)

特長	説明	リリースまたは日付が追加された	参照先
5.0 (1c)	HX 5.0(1c) のソフトウェア要件を更新しました。	2022 年 6 月 7 日	<ul style="list-style-type: none"> • FI/サーバーファームウェア - 5.0(x) リリース (39 ページ) • VMware ESXi のソフトウェア要件 - 5.0(x) リリース (44 ページ) • 5.0 (x) 展開向け HyperFlex Edge/DC-No-FI およびファームウェア互換性マトリックス (42 ページ)
4.0(2f)	HX 4.0(2f) の認定バージョンのリストに UCS 4.1(3f) を追加しました。	2022 年 4 月 28 日	FI/サーバーファームウェア - 4.0(x) リリース
4.5(2c)	HX 4.5(2c) のソフトウェア要件を更新しました。	2022 年 4 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> • FI/サーバーファームウェア - 4.5(x) リリース (54 ページ) • VMware ESXi のソフトウェア要件 - 4.5(x) リリース (58 ページ)

特長	説明	リリースまたは日付が追加された	参照先
5.0(x)、4.5(2x)	HyperFlex ソフトウェアの推奨事項とガイドラインについて説明する章のタイトルを更新しました。UCS サーバーファームウェアバージョンの選択方法を説明するトピックが追加されました。ESXi と Hyper-V の HXDP およびハイパーバイザバージョンを選択する方法を説明するトピックを更新しました。アップデートされた利用可能なリリース。UCS サーバーファームウェアのリリース サポート タイムラインについて説明するトピックを追加しました。	2022 年 4 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> • UCS サーバーファームウェアバージョンの選択 (6 ページ) • HXDP とハイパーバイザのバージョンの選択 - ESXi (7 ページ) • HXDP とハイパーバイザのバージョンの選択 - Hyper-V (9 ページ) • 提供中のリリース バージョンの種類 (12 ページ) • HXDP のリリース サポート タイムライン (12 ページ) • UCS サーバーファームウェアのリリース サポート タイムライン (15 ページ)
4.0(x)	VMware が 2022 年 3 月 12 日の時点で EOL として発表したため、vSphere 6.0 を削除しました。	2022 年 3 月 14 日	VMware ESXi 4.0(x) リリースのソフトウェア要件
4.0(x)	HX 4.0(x) の認定バージョンのリストに UCS 4.1(3h) を追加しました。	2022 年 3 月 2 日	FI/サーバーファームウェア - 4.0(x) リリース
5.0(x)、4.5(2x)	HX 5.0(x) および 4.5(2x) の認定バージョンのリストに UCS 4.1(3h) および 4.2(1l) を追加しました。	2022 年 2 月 24 日	<ul style="list-style-type: none"> • FI/サーバーファームウェア - 5.0(x) リリース (39 ページ) • FI/サーバーファームウェア - 4.5(x) リリース (54 ページ)

特長	説明	リリースまたは日付が追加された	参照先
5.0(1a)	HX Edge M4 クラスターの認定ソフトウェアバージョンを4.1(2f)に更新しました。	2022年2月7日	5.0 (x) 展開向け HyperFlex Edge/DC-No-FI およびファームウェア互換性マトリックス (42 ページ)
4.5(2b)	VMware ESXi と Hyper-V のリリースバージョンを HX 4.5(2b) に更新しました。	2022年01月31日	<ul style="list-style-type: none"> • HXDP とハイパーバイザのバージョンの選択 - ESXi (7 ページ) • HXDP とハイパーバイザのバージョンの選択 - Hyper-V (9 ページ)
4.5(2a)、4.5(1a)	HX 互換性カタログについて説明するメモを追加しました。	2021年1月27日	<ul style="list-style-type: none"> • FI/サーバーファームウェア - 4.5(x) リリース (54 ページ)
4.5(2b)	HX 4.5(2b) のソフトウェア要件を更新しました。 リリースが EOL であるため、HX 3.5(x) の要件と推奨事項を削除、更新しました。	2021年12月9日	<ul style="list-style-type: none"> • FI/サーバーファームウェア - 4.5(x) リリース (54 ページ) • VMware ESXi のソフトウェア要件 - 4.5(x) リリース (58 ページ) • 4.5 (x) 展開向け HyperFlex Edge/DC-No-FI およびファームウェア互換性マトリックス (57 ページ) • Microsoft Hyper-V のソフトウェア要件 - 4.5(x) リリース (62 ページ) • ストレッチ クラスター用 HyperFlex 補助ノードの HX データ プラットフォーム ソフトウェアバージョン - 4.5 (x) リリース (58 ページ)

特長	説明	リリースまたは日付が追加された	参照先
5.0(1a)、4.5(2a)	HX Edge M5 クラスターの認定ソフトウェアバージョンを 4.1(3d) に更新しました。 HX 4.5(2a) の認定バージョンのリストに UCS 4.2(1i) を追加しました。	2021 年 11 月 17 日	<ul style="list-style-type: none"> 5.0 (x) 展開向け HyperFlex Edge/DC-No-FI およびファームウェア互換性マトリックス (42 ページ) FI/サーバーファームウェア - 4.5(x) リリース (54 ページ)
5.0(1a)	HX 5.0(1a) のコンテンツを追加しました。	2021 年 11 月 10 日	該当なし
4.5(2a)	UCS 4.1(3b) に影響する Field Notice に関する重要な注記を追加しました。リリースを UCS 4.1(3f) に更新しました。	2021 年 11 月 5 日	<ul style="list-style-type: none"> HXDP とハイパーバイザのバージョンの選択 - ESXi (7 ページ) FI/サーバーファームウェア - 4.5(x) リリース (54 ページ)
4.5(2a)	VMware ESXi と Hyper-V のリリースバージョンを 4.5(2a) に更新しました。	2021 年 9 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> VMware ESXi のソフトウェア要件 - 4.5(x) リリース (58 ページ) Microsoft Hyper-V のソフトウェア要件 - 4.5(x) リリース (62 ページ)
3.5(2x)、4.0(2x)、4.5(1x)、4.5(2x)	HX 3.5(2x)、4.0(2x)、4.5(1x)、および 4.5(2x) のサポート終了日を更新。	2021 年 8 月 31 日	<ul style="list-style-type: none"> リリース サポート タイムライン: リリース - 4.0(2x) リリース 4.5(2x) までのリリース サポート タイムライン
4.5(2a)、4.0(2x)	HX 4.5(2a) および 4.0(2x) の認定バージョンのリストに UCS 4.1(3e) を追加しました。	2021 年 8 月 30 日	<ul style="list-style-type: none"> FI/サーバーファームウェア - 4.5(x) リリース (54 ページ) FI/サーバーファームウェア - 4.0(x) リリース

特長	説明	リリースまたは日付が追加された	参照先
4.5(2a)、4.0(2x)	HX 4.5(2a) および 4.0(2x) の認定バージョンのリストに UCS 4.0(4m) および 4.1(3d) を追加しました。	2021 年 8 月 9 日	<ul style="list-style-type: none"> • FI/サーバーファームウェア - 4.5(x) リリース (54 ページ) • FI/サーバーファームウェア - 4.0(x) リリース
4.5(2a)	特定のクラスタ構成の VMware ESXi と Hyper-V のリリースバージョンを 4.5(2a) に更新しました。	2021 年 8 月 4 日	<ul style="list-style-type: none"> • VMware ESXi のソフトウェア要件 - 4.5(x) リリース (58 ページ) • Microsoft Hyper-V のソフトウェア要件 - 4.5(x) リリース (62 ページ)
4.5(2a)	HX 4.5(2a) のソフトウェア要件を更新。	2021 年 6 月 30 日	<ul style="list-style-type: none"> • FI/サーバーファームウェア - 4.5(x) リリース (54 ページ) • VMware ESXi のソフトウェア要件 - 4.5(x) リリース (58 ページ) • 4.5 (x) 展開向け HyperFlex Edge/DC-No-FI およびファームウェア互換性マトリックス (57 ページ) • Microsoft Hyper-V のソフトウェア要件 - 4.5(x) リリース (62 ページ) • ストレッチ クラスタ用 HyperFlex 補助ノードの HX データプラットフォームソフトウェアバージョン - 4.5 (x) リリース (58 ページ)

特長	説明	リリースまたは日付が追加された	参照先
4.0(2f)	VMware ESXi と Hyper-V のリリースバージョンを 4.0(2f) に更新しました。	2021 年 6 月 24 日	<ul style="list-style-type: none"> • HXDP とハイパーバイザのバージョンの選択 - ESXi (7 ページ) • HXDP とハイパーバイザのバージョンの選択 - Hyper-V (9 ページ)
4.5(1a)	VMware ESXi-4.5(1a) のソフトウェア要件を更新し、vCenter バージョン 7.0 U2 のサポートを示しました。	2021 年 6 月 10 日	<ul style="list-style-type: none"> • VMware ESXi のソフトウェア要件 - 4.5(x) リリース (58 ページ)
4.0(2f)	HX 4.0(2f) の内容を追加しました。	2021 年 6 月 3 日	該当なし
HX 4.5(1a)、 4.0(2x)、3.5(2i)、 3.5(2h)	<p>コンピューティング専用ノードの HXDP-P ライセンスノードのスケールを 64 に増やしました。</p> <p>HX 4.5(1a)、4.0(2x)、3.5(2i)、および 3.5(2h) の認定バージョンのリストに UCS 4.0(4I) を追加。</p>	2021 年 3 月 7 日	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco HX Data Platform の互換性と拡張性の詳細 - 4.5(x) リリース (49 ページ) • FI/サーバーファームウェア - 4.5(x) リリース (54 ページ) • FI/サーバーファームウェア - 4.0(x) リリース • 推奨される FI/サーバーファームウェア - 旧版のリリース (65 ページ)
HX 4.5(1a)、 4.0(2x)、3.5(2i)	HX 4.5(1a)、4.0(x)、および 3.5(2i) の認定バージョンのリストに UCS 4.1(3c) が追加されました。	2021 年 4 月 29 日	<ul style="list-style-type: none"> • FI/サーバーファームウェア - 4.5(x) リリース (54 ページ) • FI/サーバーファームウェア - 4.0(x) リリース • 推奨される FI/サーバーファームウェア - 旧版のリリース (65 ページ)

特長	説明	リリースまたは日付が追加された	参照先
HX 4.5(1a)、4.0(2x)	VMware ESXi-4.5(x) および 4.0(x) リリースのソフトウェア要件を更新。 VMwareESXi および vCenter バージョン 7.0 U1c~7.0 U1d ビルドのサポートを示します。	2021 年 3 月 30 日	<ul style="list-style-type: none"> VMware ESXi のソフトウェア要件 - 4.5(x) リリース (58 ページ) FI/サーバーファームウェア - 4.0(x) リリース
HX 4.0(2e)	HX 4.0(2e) の内容を追加しました。 すべての M5 エッジサーバーの UCS 4.1(2f) の HUU を更新しました。	2021 年 3 月 17 日	該当なし
HX 4.5(1a)	FI/サーバーファームウェア - 4.0(x) および 3.5(x) リリースの認定バージョンのリストに UCS 4.0(4k) を追加しました。	2021 年 3 月 11 日	<ul style="list-style-type: none"> FI/サーバーファームウェア - 4.0(x) リリース
HX 4.5 (1a)	FI/サーバーファームウェア - 4.5(x)、4.0(x)、3.5(x) リリースの認定バージョンのリストに UCS 4.1(2c) を追加しました。	2021 年 2 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> FI/サーバーファームウェア - 4.5(x) リリース (54 ページ) FI/サーバーファームウェア - 4.0(x) リリース
HX 4.5 (1a)	FI/サーバーファームウェア - 4.5(x) リリースの認定バージョンのリストに 4.1(1e)、4.1(3b) を追加しました。 FI/サーバーファームウェア - 4.0(x) および 3.5(x) リリースの認定バージョンのリストに UCS 4.1(3b) を追加しました。	2021 年 2 月 12 日	<ul style="list-style-type: none"> FI/サーバーファームウェア - 4.5(x) リリース (54 ページ) FI/サーバーファームウェア - 4.0(x) リリース 推奨される FI/サーバーファームウェア - 旧版のリリース (65 ページ)
HX 4.5 (1a)	VMware ESXi-4.5(x) リリースのソフトウェア要件に ESXi バージョン 7.0 U1c (ビルド 17325551) 以降を追加。	2021 年 1 月 26 日	<ul style="list-style-type: none"> VMware ESXi のソフトウェア要件 - 4.5(x) リリース

特長	説明	リリースまたは日付が追加された	参照先
HX 4.5 (1a)	HX 4.5(1a) の内容を追加。	2021 年 1 月 6 日	該当なし
HX 4.0 (1x)	Cisco HX リリース 4.0(x) から HX 4.0(1x) を削除-ソフトウェア要件はリリースが EOL であるため。	2020 年 9 月 29 日	該当なし
Cisco HyperFlex 推奨ソフトウェアリリースおよび要件ガイド	このガイドが導入された	2020 年 9 月 28 日	n/a



第 10 章

関連ドキュメントおよびソフトウェア

- マニュアルとソフトウェア (89 ページ)
- マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート (89 ページ)

マニュアルとソフトウェア

詳細については、[Cisco HyperFlex](#) 製品資料のページをご覧ください。

ソフトウェアについては、「[ソフトウェアのダウンロード](#)」ページを参照してください。

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

資料の入手方法、Cisco バグ検索ツール (BST) の使用方法、サービスリクエストの送信方法、および追加情報の収集方法については、『[更新情報](#)』

(http://www.cisco.com/c/ja_jp/td/docs/general/whatsnew/whatsnew.html) を参照してください。

『*What's New in Cisco Product Documentation*』では、シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧を、RSS フィードとして購読できます。また、リーダー アプリケーションを使用して、コンテンツをデスクトップに直接配信することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。